

平成28年度 アパレルプロフェッショナル科 開講年次表

1年次

	授業科目	単位数	前学期	後学期
必修科目	1 クリエーションワーク1	1	○	
	2 クリエーションワーク2	1	○	
	3 クリエーションワーク3	1		○
	4 パターンメイキング1	1	○	
	5 パターンメイキング2	1	○	
	6 パターンメイキング3	1		○
	7 パターンメイキング4	1		○
	8 パターンメイキング5	1		○
	9 アパレル技術1	1	○	
	10 アパレル技術2	1	○	
	11 アパレル技術3	2	○	
	12 アパレル技術4	2		○
	13 アパレル技術5	3		○
	14 立体的裁断1	1	○	
	15 立体的裁断2	1		○
	16 CAD1	1		○
	17 デザイン画1	1	○	
	18 デザイン画2	1	○	
	19 スタイリスト検定	1	○	
	20 ファッションマテリアル1	1		○
	21 ファッションビジネス1	1	○	
	22 ビジネスコミュニケーション	1		○
	23 コンピューターグラフィックス1	1	○	
	24 マーケットリサーチ1	1		通年
	25 コレクションセミナー1	1		通年
	26 プレゼンテーション1	1		通年
選択科目1	27 コンピューターグラフィックス2	1		○
	28 リクルートガイダンス1	1		○
	29 技術認定対策講座【初級】	1		○
	30 イベントプロデュース1	2		通年
選択科目2	31 incubate collection	1		○
	32 コンテストコーチング	1		○
	33 モデルウォーキング	1		○
	34 キャンパスサポート	2		通年

2年次

	授業科目	単位数	前学期	後学期
必修科目	1 デザインクリエイション1	2	○	
	2 デザインクリエイション2	1	○	
	3 デザインクリエイション3	1		○
	4 クリエーションパターン1	1	○	
	5 クリエーションパターン2	2	○	
	6 クリエーションパターン3	1		○
	7 モデリング1	3	○	
	8 モデリング2	3		○
	9 モデリング3	2		○
	10 立体的裁断3	1	○	
	11 CAD2	1	○	
	12 パターン・テクニク1	1	○	
	13 ファッションマテリアル2	1	○	
	14 マーケットリサーチ2	1		通年
	15 コレクションセミナー2	1		通年
	16 プレゼンテーション2	1		通年
選択科目1	17 パターン・テクニク2	1	○	
	18 CAD3	1		○
	19 帽子製作	1	○	
	20 リクルートガイダンス2	1	○	
	21 イベントプロデュース2	2		通年
	22 ネイルアート	1		○
選択科目2	23 incubate collection	1		○
	24 技術認定対策講座【中級】	1		○
	25 インターンシップ	2	○	
	26 コンピューターグラフィックス3	1	○	
	27 コンテストコーチング	1		通年
	28 モデルウォーキング	1		○
	29 キャンパスサポート	2		通年
	30 コレクションスタッフ	1		○

平成28年度 ファッションスタイリング科 開講年次表

1年次

		授業科目	単位数	前学期	後学期
必修科目	1	スタイリング1	3	○	
	2	スタイリング2	3	○	
	3	スタイリング3	3		○
	4	ビジネスコミュニケーション	1	○	
	5	ファッションビジネス1	2	○	
	6	スタイリスト検定	1	○	
	7	デザイン画1	1	○	
	8	デザイン画2	1		○
	9	ファッションマテリアル1	1		○
	10	アパレル技術1	1	○	
	11	パターンメイキング1	1	○	
	12	コンピューターグラフィックス1	1	○	
	13	ビジネスマナー	1		○
	14	incubate collection	1		○
	15	プレゼンテーション1	1		通年
	16	マーケットリサーチ1	1		通年
	17	コレクションセミナー1	1		通年
	18	イベントプロデュース1	2		通年
選択必修科目1	19	ファッションデザイン1 ※1	1	○	
	20	ヘアメイク1 ※1	1	○	
	21	スタイリストトレーニング1 ※1	1		○
	22	ファッションビジネス2 ※2	2		○
	23	ショップマネジメント1 ※2	1	○	
	24	ファッションリテール ※2	1	○	
	25	リクルートガイダンス1 ※2	1		○
	26	コンピューターグラフィックス2	1		○
自由選択	27	販売士2級検定対策	1	○	
	28	英会話	1		○
選択科目2	29	コンテストコーチング	1		○
	30	モデルウォーキング1	1		○
	31	ヘアメイクスタッフ1	1		○
	32	キャンパスサポート1	2		通年

2年時

		授業科目	単位数	前学期	後学期
必修科目	1	スタイリストワーク 1	3	○	
	2	スタイリストワーク 2	3		○
	3	スタイリストワーク 3	3		○
	4	incubate collection	1		○
	5	プレゼンテーション2	1		通年
	6	マーケットリサーチ2	1		通年
	7	コレクションセミナー2	1		通年
	8	イベントプロデュース2	3		通年
選択必修科目1	9	スタイリスト検定 ※1	1	○	
	10	ファッションデザイン2 ※1	1		○
	11	ヘアメイク2 ※1	1	○	
	12	スタジオワーク ※1	1	○	
	13	ポートフォリオ制作 ※1	1		○
	14	スタイリストトレーニング2 ※1	2		○
	15	ファッションビジネス3 ※2	1	○	
	16	ファッションマーケティング ※2	1		○
	17	ショップマネジメント2 ※2	2	○	
	18	リクルートガイダンス2 ※2	1	○	
	19	デジタルマーケティング ※2	1	○	
	20	アパレルインターンシップ ※2	2	○	
自由選択	21	帽子製作	1		○
	22	販売士2級検定対策	1	○	
	23	ネイルアート	1		○
選択科目2	24	コンピューターグラフィックス3	1	○	
	25	コンテストコーチング	1		通年
	26	モデルウォーキング2	1		○
	27	ヘアメイクスタッフ2	1		○
	28	キャンパスサポート2	2		通年
	29	コレクションスタッフ	1		○
	30	フォーマルスペシャリスト検定	1		○

※1スタイリストコース 選択必修

※2アドバイザーコース 選択必修

※1スタイリストコース 選択必修

※2アドバイザーコース 選択必修

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク1		金久保 雅人	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
授業を通してクリエイション＝創造・アイデアなどファッション・デザイナーを目指す為に必要な基礎学力を各課題を通して学んでいきます。			
学習到達目標			
クリエイションワーク1においてデザイン作業に必要なのか（発想力・思考力・情報力）の基本課題を通してトレーニングして行きます			
学習上の助言			
各課題作業に入る前に事前準備を必ずして頂きます（資料の収集等）また授業時のノートは必ず取って頂きます。			
教科書及び教材			
デザイン画を描く為の準備（スケッチブック・A4サイズのコピー用紙）等、ファッションニュース等の資料、着色出来るもの			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	リサーチ・プロジェクト1	ガイダンス説明とクリエイションの基礎練習・講義	
2	リサーチ・プロジェクト1	リサーチ・プロジェクトデザイン製作	
3	リサーチ・プロジェクト1	リサーチ・プロジェクトデザイン製作とプレゼンテーション練習と次回課題の説明	
4	リミックスプロジェクト2	人工物からのデザイン発想・ファッションデザインへの転換練習・講義	
5	リミックスプロジェクト2	人工物からのデザイン発想・ファッションデザインへの転換練習（各自セレクトした対象物での発表用の製作）	
6	リミックスプロジェクト2・3	製作発表と次回製作課題（自然物からのファッションデザインの説明）講義	
7	リミックスプロジェクト3	自然物からのデザイン発想・ファッションデザインへの転換練習・講義	
8	リミックスプロジェクト3	製作物の発表、次回課題（総合リミックス・デザイン）への転換練習・講義	
9	総合リミックス	各自総合リミックスデザイン製作・経過説明	
10	総合リミックスの発表	総合プレゼンテーション	
成績評価の目安と方法			
各課題の理解力・製作期限の厳守・作業内容・授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	各課題への理解・製作期限・発表内容が深められている		
B	各課題への理解・製作期限・発表内容がある程度深められている		
C	各課題への理解・製作期限・発表内容が部分的に深められている		
D	各課題への理解・製作期限・発表内容が習得に至っていない。課題提出の未提出		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク2		金久保 雅人	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
前期授業におけるクリエイション・ワークを基本とし、更なる想像性・構成力・感受性を高めて学習して行く			
学習到達目標			
見て学ぶだけでなく、聞くことによる想像性の練習、古今のデザイナー・服装史からの情報収集等あらゆる面からのデザイナーとしての学び、自己のデザイン活動への吸収			
学習上の助言			
後期の授業において、資料収集、情報整理、構成力など前期の授業を基本とし、また、その他の学科との関連性も重視して行きます。			
教科書及び教材			
スケッチブックまたはA4サイズのコピー用紙等デザイン作業に適した用紙、着色できるもの（サインペン・色鉛筆等）、デザイン資料、時間外での資料収集が必要になります。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ミュージックプロジェクト	音源からのデザインへの転換（思考力・想像力）の練習・講義	
2	ミュージックプロジェクト	数曲のタイプの違う曲を聴き、デザイン画への表現練習・プレゼン用デザイン画の製作	
3	ミュージックプロジェクト	ミュージックプロジェクトのデザイン発表、次回課題の説明	
4	デザイナー研究プロジェクト	古今のデザイナーの研究を通し、現代ファッションへの影響など各自で研究、資料の収集等、各自のデザイン作業に必要な情報能力を身につけます	
5	デザイナー研究プロジェクト	各自で調べたデザイナー研究のレポート発表の資料・整理とプレゼンテーション・ボードの製作	
6	デザイナー研究プロジェクト	研究レポートの発表と発表に対する評価、次回製作課題の説明と講義	
7	ヒストリープロジェクト	ファッションを学ぶ上で現代に至までの服装の歴史を学び、現代ファッションにどの様に影響しているか、グループ研究での製作・発表	
8	ヒストリープロジェクト	チーム毎の研究製作の報告・各自の研究における仕事内容の報告	
9	ヒストリープロジェクト	ヒストリープロジェクト発表の最終準備	
10	ヒストリープロジェクト	ヒストリープロジェクト発表と発表に対する評価	
成績評価の目安と方法			
前期の課題学習をいかに蓄積し後期授業における、視聴・歴史など多方面からのデザイン・クリエイション活動に必要な理解しているかが評価のポイントになります。課題提出は厳守して行きます			
評価	成績評価別の到達度		
A	各課題における資料の準備、整理能力、内容への深く理解し製作出来ている		
B	各課題における資料の準備、整理能力、内容へのある程度の理解し製作出来ている		
C	各課題における資料の準備、整理能力、内容への一部分の理解し製作出来ている		
D	各課題への理解が出来ていない、提出物の内容・提出遅れ・授業態度		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク 3		金久保 雅人	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
クリエイション・ワークの最終課題、ライフワークプロジェクトを通して生活環境・ライフスタイルなどからの、より実践的な面からのファッション・デザインの製作と発表			
学習到達目標			
最終課題の製作を通して前期からの各課題のクリエイション・ワークで学びえた事が、総合的に生かされ達成出来ているか			
学習上の助言			
基本的に企業への就職用プレゼンテーション・ボードの練習をイメージし、外部の人へも発表・閲覧が出来るレベルのボード製作を目標にします			
教科書及び教材			
ライフスタイル研究に必要な資料の収集、(ライフスタイルに必要な多くの資料が必要になります)			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ライフスタイルプロジェクト	ライフスタイルの定義・講義、各自テーマの決定と資料収集の開始	
2	ライフスタイルプロジェクト	資料収集と全体の構成の準備	
3	ライフスタイルプロジェクト	第一回収集資料とイメージ構成の説明報告、各自、講師へのプレゼン相談有り	
4	ライフスタイルプロジェクト	第二回資料収集とイメージ構成の説明報告、各自、講師へのプレゼン相談有り	
5	ライフスタイルプロジェクト	各自、講師への進行プレゼン可否終了者確認後、プレゼンボード製作の開始	
6	ライフスタイルプロジェクト	発表ボードの製作開始	
7	ライフスタイルプロジェクト	発表ボードの製作開始とワードローブのデザイン製作	
8	ライフスタイルプロジェクト	発表ボードの製作開始とワードローブのデザイン製作	
9	ライフスタイルプロジェクト	発表ボードの製作開始とワードローブのデザイン製作と総仕上げ	
10	製作発表	製作発表、発表後の総括・全体評価の報告	
成績評価の目安と方法			
一年間を通して習得した各クリエイション・ワーク(想像力・収集能力・情報処理能力・デザインへの転換表現)が最終製作課題に総合的に生かされているかがポイントになります			
評価	成績評価別の到達度		
A	最終課題において総合的に理解し、課題製作に良く生かされている		
B	最終課題において総合的に理解し、課題製作に平均的に生かされている		
C	最終課題において総合的に理解し、課題製作に部分的に生かされている		
D	最終課題において総合的に応用出来ず、課題製作に生かされていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング1		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
スカート原型の作図法と、デザインスカートの展開方法を学ぶ。			
学習到達目標			
『スカート』の種類と基本的な展開方法を理解する。			
学習上の助言			
まずは製図用具を使いこなすところからスタートです。			
教科書及び教材			
ノート・A4サイズファイル・50cm、30cm方眼定規・縮尺定規・0.3シャープペンシル・コンパス・メンディングテープ・カッター・色ペン（2～3種）・メジャー・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	パターン概論・スカート原型	ファッションの定義・既製服と注文服・パタンナーの役割・原型について・体型について・サイズについて・ライン、ポイントの名称・スカート原型の引き方（1/2大）	
2	スカート原型	採寸について・スカート原型（原寸）	
3	スカート原型	ベルトパターン・トワルの裁断	
4	スカート原型	スカート原型（実寸）のトワル組立て・トワルチェック	
5	0	スカートの歴史と種類・セミタイトスカート・Aラインスカート（1/2大）	
6	デザインスカートの展開	フレアスカート・ギャザーフレアスカート（1/2大）	
7	デザインスカートの展開	ゴアードスカート・プリーツの種類・プリーツスカート（1/2大）	
8	デザインスカートの展開	ベッグトップスカート・ヨークスカート（1/2大）	
9	デザインスカートの展開	応用デザインスカート作図（1/2大）	
10	応用デザインスカート	トワル組立て（1/2大）・トワルチェック・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て高いレベルで出来ている		
B	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て一定の水準レベルで出来ている		
C	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て最低限のレベルで出来ている		
D	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストが出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング2		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
トルソー原型の考え方と展開方法、衿・袖の考え方と展開方法を学ぶ。			
学習到達目標			
『ブラウス』原型を理解して、基本的な展開ができる。			
学習上の助言			
トップスの基本となるのがブラウスです。			
教科書及び教材			
ノート・A4サイズファイル・50cm、30cm方眼定規・縮尺定規・0,3シャープペンシル・コンパス・メンディングテープ・カッター・色ペン（2～3種）・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トルソー原型	トルソー原型の考え方・トルソー原型の引き方（1/2大）	
2	トルソー原型	トルソー原型（実寸）・トワル組立て	
3	ウエスト原型	ウエスト原型（1/2大）・ダーツの処理（移動）	
4	ダーツ展開方法	ダーツの処理（分散）	
5	ブラウス身頃展開	身頃のシルエット別パターン展開	
6	ブラウス身頃展開	身頃のシルエット別パターン展開	
7	袖原型	袖の考え方・AH図法、袖の目の引き方・一枚袖の引き方	
8	袖の展開	タイトスリーブ・パフスリーブ	
	衿の種類	シャツカラー・台衿付きシャツカラー・フラットカラー	
	Yシャツ	Yシャツのディテール・シャツスリーブ・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て高いレベルで出来ている		
B	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て一定の水準レベルで出来ている		
C	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て最低限のレベルで出来ている		
D	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストが出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング3		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
パンツ原型の考え方と展開方法・ワンピースの展開方法			
学習到達目標			
『パンツ』の種類と展開方法を理解する。『ワンピース』の展開が出来る。			
学習上の助言			
応用デザインはオリジナルデザインへの『はじめの一步』です。			
教科書及び教材			
ノート・A4サイズファイル・50cm、30cm方眼定規・縮尺定規・0,3シャープペンシル・コンパス・メンディングテープ・カッター・色ペン(2~3種)・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	パンツ原型	・バランスパンツ原型(1/2大)	
2	パンツのシルエット	・ツータックパンツ(1/4大)・パンツのパーツパターン	
3	パンツのシルエット	・スリムパンツ(1/4大)・ベルボトムパンツ(1/4大)・カーブベルトの考え方	
4	パンツのシルエット	・ワイドパンツ(1/4大)・キュロット(1/2大)	
5	ワンピースドレス	・ドレス原型の種類と考え方・プリンセスドレス原型(1/2大)	
6	ワンピースドレス	・デザインワンピースパターン(1/2大)	
7	ワンピースドレス	・身頃の作り方	
8	応用デザインワンピース	・デザインワンピースパターン(1/2大)・ノーカラーの考え方	
9	応用デザインワンピース	・デザインワンピースパターン(1/2大)・パターン展開	
10	応用デザインワンピース	・デザインワンピースパターン・トワル組み立て・トワルチェック、修正・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て高いレベルで出来ている		
B	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て一定の水準レベルで出来ている		
C	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て最低限のレベルで出来ている		
D	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストが出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング4		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
トルソー原型からジャケット原型へのゆとりの考え方 テーラードジャケットのディテールと工業用パターン作成			
学習到達目標			
『テーラードジャケット』を理解して、正しく製図ができる。			
学習上の助言			
「ジャケットを制する者はパターンを制する」…かも。			
教科書及び教材			
ノート・A4サイズファイル・50cm、30cm方眼定規・縮尺定規・0,3シャープペンシル・コンパス・メンディングテープ・カッター・色ペン（2～3種）・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ジャケット原型	ジャケットについて・身頃構造・ディテール・ジャケット原型（1/2大）	
2	ジャケット原型	シルエット別ジャケット原型（1/2大）	
3	テーラードカラー	テーラードカラーの種類と引き方（1/2大）	
4	二枚袖	基本図法 袖の目の引き方（原寸）・二枚袖の引き方（基本図法袖の目使用 1/2大）	
5	デザインジャケット	デザインジャケットパターン 四面構成（原寸）	
6	デザインジャケット	デザインジャケットパターン 三面構成（原寸）	
7	デザインジャケット	デザインジャケットパターン 袖製図（原寸）	
8	デザインジャケット	デザインジャケットパターン トワル組み立て・トワルチェック	
9	工業用パターン	表衿、見返しのパターン（1/2大）	
10	工業用パターン	ジャケット縫い代の考え方・ジャケット裏地パターン（1/2大）・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て高いレベルで出来ている		
B	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て一定の水準レベルで出来ている		
C	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て最低限のレベルで出来ている		
D	出席状況・提出状況・ノートまとめ・筆記テストが出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング5		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
実習を通してパターンメイキングに関する基礎知識・基本技術を習得する			
学習到達目標			
パターンメイキング1～4の復習をかね知識の整理をし、確実に身に付ける			
学習上の助言			
実物大のトワル組み立ての時間を多く取り、平面と立体の関係・シルエットやデザインのバランスを学んでください			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック・パターン用具一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	基礎知識の確認テスト	パターンメイキング用語・既製服の寸法・JISサイズの概要、表示方法・基本のパターン展開	
2	確認テストの結果	学生各自の問題点を確認（学生自身が問題点を認識する）	
3	フラットパターンメイキングの基礎知識	ダーツの移動・展開の基礎/ダーツの移動・展開の応用	
4	//	スカートのシルエットと構造・デザインの捉え方	
5	デザインスカートの実技試験	原型パターン～デザイン展開～トワル組み立て～訂正～ファーストパターン（実物大）提出	
6	実技試験デザインスカートの訂正	デザイン画の見方～シルエットの考え方～ディテールの表現等の確認・訂正の方法	
7	カラーの種類と構造	カラーの考え方とネックラインの関係・ベーシックなカラーのバランスをトワルを組み立て確認	
8	//	シャツカラー・スタンドカラー・台衿付きシャツカラー	
9	//	フラットカラー	
10	デザインカラーの実技試験	パターン～トワル組み立て～検証～訂正 デザインが表現されているか確認	
成績評価の目安と方法			
実技試験の結果・授業の取り組み方・基本のスカートとカラーのデザイン・シルエット・構造の理解度			
評価	成績評価別の到達度		
A	基本のスカートとカラーのデザイン・シルエット・構造を良く理解し的確に表現できる		
B	基本のスカートとカラーのデザイン・シルエット・構造を理解し表現できる		
C	基本のスカートとカラーのデザイン・シルエット・構造を理解している		
D	基本のスカートとカラーのデザイン・シルエット・構造の理解が不足している		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術 1		箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
生地の地直しの方法から、ミシン、ロックミシン、アイロンを用いての縫製を学ぶ			
学習到達目標			
基本的な縫製技術「ミシン縫い」「手縫い」「縫い代始末」などの部分縫いの習得			
学習上の助言			
使用する教材・道具を必ず準備する事。授業内容などの要点をメモを取り、要点をまとめたレポートを完成させて下さい。今後の製作物に大きく影響する基本技術です。いつでも引き出せるように取り組んで下さい。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・縫製道具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	裁縫道具の説明/基本的な手縫い 1	教材道具の用途説明。シーチングを地直しをし運針を学ぶ。	
2	基本的な手縫い 2	一目落とし・二目落とし・斜めじつけ・縦まつり・奥まつり・千鳥がけを学ぶ。	
3	基本的な手縫い 3	直線縫い・角縫い・カーブ縫いを学ぶ。	
4	基本的な手縫い 4	ミシン、ロックミシンを用いての縫い代の始末を学ぶ。	
5	基本的な手縫い 5	バイアステープ始末、ギャザー縫いを学ぶ。	
6	基本的な手縫い 6	フラットニットファスナー、スナップボタン、前門付けを学ぶ。筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価。出席率60%以上で評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	提出物の仕上具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作が習得出来ている。		
B	提出物の仕上具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作が習得おおまか出来ている。		
C	提出物の仕上具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作が習得が最低基準出来ている。		
D	特定の技術・知識習得が出来ておらず製作物・レポートなどの提出が出来ない。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術 2		箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
基本アイテム（スカート）の縫製を学ぶ。ファスナー付けベルト付けの練習と理解。Tシャツ（伸びる素材）の扱い方と縫製を学ぶ。			
学習到達目標			
基本的なスカートのシルエットに対しての生地選び方。基本的なスカートの構造の理解			
学習上の助言			
初めてのアイテム製作です。基礎縫いを活かし自分だけのデザインを取り入れ完成させましょう。授業内での内容をメモし、レポートにまとめましょう。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・パターン道具一式・縫製道具一式・ノート・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	スカートデザインと製図	デザインを決め製図し、トワルでの型出しまでを学ぶ。	
2	トワル組	トワルを用いて理想の型出しを学ぶ。	
3	工業用パターン・裁断	工業用パターンに必要な記号縫い代の付け方・無駄の出ない様に裁断する技術を学ぶ。	
4	スカート縫製 1	テープ貼り、断ち端始末、ファスナー付けを学ぶ。	
5	スカート縫製 2	脇縫い、ベルト付けを学ぶ。	
6	スカート縫製 3	裾上げ、前カンの付け方を学ぶ。	
7	スカート縫製 4	仕上げアイロンを学ぶ。製作物とレポート提出。	
8	Tシャツ縫製 1	Tシャツパターンカット、裁断を学ぶ。	
9	Tシャツ縫製 2	ロックミシンを使用しての伸びる素材の縫製を学ぶ。	
10	Tシャツ縫製 3	伸びる素材の縫製、Tシャツのアイロンのかけ方を学ぶ。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価。出席率60%以上で評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製作物の縫製が上手く、レポートを上手くまとめ期限内に提出する事が出来た。		
B	製作物の縫製が基準値に達しており製作物・レポートを期限内に提出する事が出来た。		
C	製作物の縫製・仕上がりに努力が必要だが製作物・レポートを提出する事が出来た。		
D	特定の技術・知識習得が出来ておらず製作物・レポートなどの提出が出来ない。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術3		箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
基本アイテム（シャツブラウス・パンツ）の縫製を学ぶ。効率の良い縫製手順を身につけ、薄地から中肉までの生地の縫製を学ぶ			
学習到達目標			
シャツブラウス・パンツの構造理解。効率の良い縫製手順を学ぶ。製作物・レポートの期限内提出を目指す			
学習上の助言			
中肉素材から薄地素材へ変わっていきます。パターンも縫製も複雑になりますが、先入観に捕われず完成を目指しましょう。			
教科書及び教材			
縫製技術マニュアル・配布プリント・パターン道具一式・縫製道具一式・ノート・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1～2	シャツブラウス製図・パターン	製作条件に沿ってデザインを入れ半身でのトワル組をし工業用パターンまで学ぶ。	
3～4	裁断・印つけ・部分縫い	裁断後芯貼り後、残布を使用し部分縫いで細かい縫製を学ぶ。	
5～6	前立て・ダーツ・肩ヨーク	印の入れられない生地のダーツ縫製を学ぶ。	
7～8	衿作り・衿付け・脇縫い	衿の作り方や付け方の縫製を学ぶ。	
9～10	袖作り・袖付け	袖のあき仕様によってのカフスの付け方や、袖山の作り方を学ぶ。	
11～12	ボタン付け・仕上げ	ボタンホール位置、ボタン付け、仕上げのアイロンを学ぶ。	
13～14	パンツ製図展開・パターン	パンツ原型からの展開。トワル製作。工業用パターンまで学ぶ。	
15～16	裁断・印つけ・縫い代始末	パンツの裁断から縫い代始末を学ぶ。	
17～18	ポケット・脇・股下・ファスナー	前ポケット・パッチポケット・ファスナー付けを学ぶ。	
19～20	ベルト付け・仕上げ	バルトループ・ベルト付け・仕上げまで学ぶ。筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価。出席率60%以上で評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製作物の縫製が上手く、レポートを上手くまとめ期限内に提出する事が出来た。		
B	製作物の縫製が基準値に達しており製作物・レポートを期限内に提出する事が出来た。		
C	製作物の縫製・仕上がりに努力が必要だが製作物・レポートを提出する事が出来た。		
D	特定の技術・知識習得が出来ておらず製作物・レポートなどの提出が出来ない。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術 4		箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	2
授業概要			
基本アイテム（ワンピース）の縫製を学ぶ。美しいシルエットの出し方を学ぶ。オリジナルデザインのシャツブラウスを製作する。			
学習到達目標			
ワンピースでは薄く滑る素材の扱いの習得。オリジナルシャツブラウスでは個々のデザインに合わせてスケジュール立てをし、スケジュールにそって製作を進めて期限内に提出を目指します。			
学習上の助言			
製作物も後半に突入します。ここから縫製も難しくも楽しくなって行きます。仕上げまで諦めずに頑張りましょう！			
教科書及び教材			
縫製技術マニュアル・配布プリント・パターン道具一式・縫製道具一式・ノート・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1～2	ワンピースパターン製作	製図展開・トワル組・修正・工業用パターンの製作を学ぶ。	
3	裁断・印つけ・部分縫い	滑る素材の裁断。コンシールファスナーの部分縫いを学ぶ。	
4	芯・テープ貼り・くせとり	芯・テープ貼り箇所への接着。ウエストなどくびれの大きい箇所のくせとりを学ぶ。	
5	パネルライン縫製	パネルライン縫い合わせ。横切り替え仕様の縫製を学ぶ。	
6	ネックラインの始末	ネックラインの見返し付けを学ぶ。	
7	アームホールの始末	アームホールの見返し付けを学ぶ。	
8	まとめ	まつり・スナップボタン付け・仕上げアイロンを学ぶ。	
9	デザインシャツデザイン相談	デザイン・素材相談	
10	ファーストパターン製作	各デザインに対してのパターン製作を学ぶ。	
11～12	トワル製作・トワルチェック	トワル製作・トワルチェック・トワル修正・パターン修正を学ぶ。	
13	工業用パターン製作	デザインに合った工業用パターン製作を学ぶ。	
14	裁断・印つけ	裁断印つけを学ぶ。	
15～19	縫製・デザインに合わせた工程分析	縫製手順・工程分析・仕様書を学ぶ。	
20	まとめ	製作物・レポート提出。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価。出席率60%以上で評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製作物の縫製が上手く、レポートを上手くまとめ期限内に提出する事が出来た。		
B	製作物の縫製が基準値に達しており製作物・レポートを期限内に提出する事が出来た。		
C	製作物の縫製・仕上がりに努力が必要だが製作物・レポートを提出する事が出来た。		
D	特定の技術・知識習得が出来ておらず製作物・レポートなどの提出が出来ない。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術 5		室谷 浩子 ・ 箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	3
授業概要			
基本アイテム『ジャケット』の縫製を学ぶ。裏地、芯、副資材について学ぶ。			
学習到達目標			
『テーラードジャケット』の基本的縫製技術の習得			
学習上の助言			
1 年間の集大成です！			
教科書及び教材			
パターン用具一式・縫製用具一式・ノート・筆記用具・縫製技術マニュアル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1～2	パターン製作	・テーラードジャケット（身頃・衿）のパターン製作	
3～4	パターン製作	・テーラードジャケット（身頃・衿）トワル組み立て・トワルチェック	
5～6	パターン製作	・袖製図、トワル袖付け、トワルチェック	
7～8	工業用パターン	・表衿、見返し展開・裏地パターン作成	
9～10	工業用パターン	・ポケットパターン製作、縫い代付け、パターンカット	
11～12	裁断・印つけ	・表地、裏地、芯地裁断・印付け	
13～14	芯・テープ貼り	プレス機による芯貼り、テープ貼り、切りじつけ	
15～16	部分縫い練習・ポケット製作	箱ポケット、フラップ付き両玉縁ポケット、片玉縁ポケットの練習	
17～18	表地縫製	表地縫い合わせ、ポケット作り	
19～20	裏地縫製	裏地縫い合わせ	
21～22	袖付け	表衿つけ、裏衿つけ、四つ止め	
23～24	前端・脇縫い	表身頃、裏身頃縫い合わせ、脇縫い合わせ	
25～26	袖作り・表袖付け	表袖、裏袖縫い合わせ、表袖付け	
27～28	裏袖付け・裾縫い	肩パットつけ、裏袖付け、裾縫い合わせ	
29～30	まとめ	ボタンホール、ボタン付け、仕上げ、筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て高いレベルで出来ている		
B	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが一定の水準レベルで出来ている		
C	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが最低限のレベルで出来ている		
D	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断 1		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
立体裁断による原型作成。スカートの立体表現。			
学習到達目標			
地の目に対する理解と、ピン打ちなどの基本的な立体裁断技術の習得。			
学習上の助言			
上手なドレーピングは、道具（人台、布）の理解からです。			
教科書及び教材			
シーチング・50cm、30cm方眼定規・鉛筆（HB）・プッシュピン・シルクピン・ピンクッション・裁ちバサミ・黒テープ			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ドレーピングの準備	テープ貼り、ダミーの扱い方、シーチングの地の目の通し方	
2	原型のドレーピング	スカート原型のドレーピング	
3	原型のドレーピング	身頃原型のドレーピング	
4	原型のドレーピング	ウエスト接ぎ、印付け	
5	原型のドレーピング	平面展開・トワフル組み立て	
6	スカートのドレーピング	フレアースカートのドレーピング	
7	スカートのドレーピング	Aラインスカートのドレーピング	
8	スカートのドレーピング	ヨーク切り替えデザインスカートのドレーピング・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・テーマごとにトワフルチェック・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て高いレベルで出来ている		
B	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが一定の水準レベルで出来ている		
C	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが最低限のレベルで出来ている		
D	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断 2		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
基本的な身頃のゆとりの入れ方の理解。デザインブラウスの練習。			
学習到達目標			
『ブラウス』のドレーピングの基本技術の習得。			
学習上の助言			
そろそろドレーピングがプロに近づく頃です。			
教科書及び教材			
シーチング・50cm、30cm方眼定規・鉛筆（HB）・プッシュピン・シルクピン・ピンクッション・裁ちバサミ・黒テープ			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ベーシックブラウス	ブラウスのドレーピング【身頃】	
2	ベーシックブラウス	ブラウスのドレーピング【平面展開】	
3	ベーシックブラウス	ブラウスのドレーピング【袖製図と袖つけ】	
4	ベーシックブラウス	ブラウスのドレーピング【袖つけ】	
5	ベーシックブラウス	ブラウスのドレーピング【衿 2 種】	
6	ビスチェドレス	ビスチェの考え方	
7	ビスチェドレス	ベッグトップスカート	
8	ビスチェドレス	平面展開	
成績評価の目安と方法			
出席状況・テーマごとにトワルチェック・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストを総合的に見て高いレベルで出来ている		
B	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが一定の水準レベルで出来ている		
C	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが最低限のレベルで出来ている		
D	出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テストが出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD 1		窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
CADの基本操作を理解し、スカートのパターン展開ができるようになる。			
学習到達目標			
アパレル業界で必要不可欠となったアパレルCADを現状の理解とともに操作方法も学習する。その上で基本アイテムのパターンメイキングの演習を行いながら、アパレル企業で活用出来る能力を修得する。			
学習上の助言			
授業ではプリントを配布するので、A4サイズのファイルとUSBメモリ（1GB以上）を準備すること。授業で行ったことはメモを取り、復習または次回の授業時に活かせるようにファイリングすること。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	CADの基本知識、基本操作Ⅰ	アパレル業界とCADの現状。CADの起動、保存方法、マウス操作を含めた基本操作。	
2	基本操作Ⅱ パターンメイキングⅠ	基本操作復習。タイトスカート原型→セミタイトスカートへ展開	
3	パターンメイキングⅡ	タイトスカートからフレアスカートへ展開	
4	パターンメイキングⅢ	タイトスカートからヨーク切替フレアスカートへ展開	
5	パターンメイキングⅣ	線のつながり修正、縫い代付け	
6	テスト	1～5までの復習テスト	
7			
8			
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	全出席と、課題の全提出。積極的に授業に参加し、内容を理解した上でCADが応用操作ができる。		
B	2/3以上の出席。授業態度も良好で積極的に課題に取り組む。内容を理解した上でCADの基本操作ができる。		
C	過半数の出席。授業態度や課題への取り組みも普通。CADの基本操作がまあまあできる。		
D	単位取得不可		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画 1		清水 千晶	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
<p>1、デザイン画の基本プロポーション8頭身ヌードを練習する。 2、トップスとボトムスの基本的なアイテムを着たデザイン画を練習する。</p>			
学習到達目標			
デザイン画の基本であるプロポーションと衣服の関係を把握し、デザインの構造を正確に描けるように、基本技術と想像力を高める。			
学習上の助言			
最初はゆっくりと丁寧に描き、基本を習得しましょう。失敗をおそれず、繰り返し練習すれば、必ず上達します。			
教科書及び教材			
教科書「ファッション画」、クロッキー帳、クリエーションパッド、コピック、配布プリント、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション デザイン画基本	画材の説明 テキストを使って正面から8頭身を描く	
2	ポーズバリエーション	教科書の写真を参考に様々なポーズを描く	
3	細部を描く スカートを描く 1	手、足、顔を描く練習をする スカートを着たデザイン画を描く	
4	スカートを描く 2	タイツ、フリース、フレアー、ギャザースカートを練習し、オリジナルデザインを描く	
5	スカートを描く 3	ペン入れ、色塗りの説明、練習をしてオリジナルスカートを仕上げる	
6	シャツ・ブラウスを描く	台襟付きシャツ、オープンカラーシャツ、フラットカラーブラウスを練習する	
7	ワンピースを描く 1	ワンピースを練習する	
8	ワンピースを描く 2	ペン入れ、色塗りをし、仕上げる	
9	平面図を描く 1	シャツ、スカート、パンツの平面図を練習する	
10	平面図を描く 1	ワンピース、コート、セーターの平面図を練習する	
成績評価の目安と方法			
8頭身を習得したか。 各アイテムの構造を理解し、基本デザインが描けたか。			
評価	成績評価別の到達度		
A	8頭身のプロポーションが様々なポーズでバランスよく違和感なく描かれていること。		
B	8頭身のプロポーションの基本的なポーズが正確に描け、多少の応用もできていること。		
C	8頭身のプロポーションの基本的なポーズが正確に描かれていること。		
D	8頭身のプロポーションが理解できていること。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画 2		清水 千晶	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
重衣料の基本アイテムを練習する 素材感の違いを描きわける			
学習到達目標			
前期に習得した基本技術をもとに応用力、表現力を身につける			
学習上の助言			
様々な素材の特徴を理解し、描き分けられるようになりましょう。			
教科書及び教材			
教科書「ファッション画」、クロッキー帳、クリエーションパッド、コピック、配布プリント、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ジャケット 1	ノッチドラベル、ピークドラベルジャケットを練習する	
2	ジャケット 2	ジャケット着彩	
3	コート 1	ピーコート、Aラインコート、トレンチコートを練習する	
4	コート 2	コート着彩	
5	メンズデザイン	メンズのコートを練習し、基本アイテムを描く	
6	柄を描く 1	チェック、花柄プリントを練習する	
7	柄を描く 2	千鳥格子、アニマル柄等を練習する	
8	素材表現 1	ツイード、デニムを練習する	
9	素材表現 2	レース、シースルー、毛皮、ニットを練習する	
10	素材表現 3	総まとめ	
成績評価の目安と方法			
各アイテムの構造を理解し、複雑な部分まで描けたか。 素材や柄を表現できたか。			
評価	成績評価別の到達度		
A	複雑な構造の衣服を理解し自然に描くことができ、柄や素材の描き分けも問題なく描けていること。		
B	複雑な構造の衣服を理解することができ、柄や素材の描き分けが8割以上できていること。		
C	複雑な構造の衣服をある程度理解することができ、柄や素材の描き分け5割以上理解できていること。		
D	複雑な構造の衣服を部分的に理解することができ、柄や素材の描き分けを理解しようと努力していること。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションスタイリスト検定【ジュニア】		岩崎 清美 ・ 染谷明る実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
Styling Map ファッションスタイリスト ジュニア検定に則り、人を理論的に分析・分類し、情報を可視化し表現する			
学習到達目標			
いろいろな人に合った客観的で明確なスタイリング提案ができる			
学習上の助言			
自らも分析し、楽しんで質問も沢山してください。			
教科書及び教材			
F.S.A Styling Map ファッションスタイリスト ジュニア検定テキスト			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	Styling Mapとは	S-Mapの概要、検定目的・目標	
2	色の基礎知識	パーソナルカラーの概要	
3	カラー分析・分類の基礎	パーソナルカラーの分析・分類	
4	人の色の分析	S-Mapの人の色分析	
5	形の分析	アイテム、物の形の分析	
6	人の形の分析	S-Mapの人の形の分析	
7	素材（質感）分析・分類	アイテム、物の素材（質感）の分析	
8	人の質感の分析	S-Mapの人の質感の分析	
9	トータル分析①	S-Mapの人のトータル分析	
10	トータル分析②	S-Mapの人のトータル分析	
11	復習テスト	検定対策復習テスト	
12	検定テスト	検定テスト	
成績評価の目安と方法			
授業態度、提出物、出席率、テスト結果			
評価	成績評価別の到達度		
A	スタイリングMap検定に合格し、人に合わせたスタイリングの提案・アドバイスが適切にできる		
B	スタイリングMap検定に合格し、人に合わせたスタイリングの提案・アドバイスができる		
C	スタイリングMap検定に合格し、内容の理解ができる		
D	スタイリングMapの内容を部分的に理解できる		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマテリアル 1		吉井 たか子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
服飾のマテリアル（素材）を総合的に学びます。			
学習到達目標			
繊維・糸・織組織・編地等基本の構造、染色・加工・織柄・プリントの種類、基本の服地の特徴（テクスチャー）を身につける			
学習上の助言			
理論だけでなく、素材のテクスチャーの感触を実感し、それを表現できる言葉も学びましょう			
教科書及び教材			
服地のわかる事典・ファッションビジネス [1] ・授業時配布資料・生地サンプル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アパレルと素材	アパレル素材とは	
2	繊維	繊維の分類について	
3	//	天然繊維と化学繊維	
4	糸	糸の種類	
5	織物服地	織物の構造・組織	
6	//	//	
7	//	主要織物の名称と風合い・材質感	
8	//	//	
9	編地	編地の分類と名称	
10	染色・仕上げ・加工	染色の工程・種類	
11	//	仕上げ・加工の種類	
12	織柄・プリント	織柄の名称	
13	//	プリント柄の名称	
14	筆記試験		
15	まとめ		
成績評価の目安と方法			
服地の基礎知識（名称・分類等）の理解度・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	服地の基礎知識を良く理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる		
B	服地の基礎知識を理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる		
C	服地の基礎知識を理解している		
D	服地の基礎知識の理解が不足している		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス 1		吉井 たか子 ・ 奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
ファッションビジネス検定 3 級合格を目指します。ファッションビジネスとは繊維製品に新しいデザインが表現するスタイルや、イメージなどの付加価値を付けて、生産・流通させ、市場で消費者の感性に訴え、共感を得てファッションを創り出し、成果を得る手段をいいます。授業を通しアパレル業界全体の仕組みを包括、基礎から理解します。			
学習到達目標			
3 級においては、「ファッションビジネス知識」と「ファッション造形知識」の 2 科目で構成されています。「ファッションビジネス知識」は全試験配点の 60% の得点を、「ファッション造形知識」は 70% の得点を目安に合格とします。			
学習上の助言			
アパレル業界で即戦力として幅広く活躍出来るように知識を身につけましょう。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験 3 級準拠 ファッション辞典			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	デザインの定義と特性	衣服の流れ	
2	コーディネーションの基礎知識	ファッションスタイリング・ファッション企業のスタイリング	
3	ファッション商品知識	アパレル商品知識 【服種・アイテム】	
4	ファッション商品知識	シルエットの知識 ディテールの知識	
5	ファッション商品知識	サイズの知識 繊維の知識	
6	ファッション・ビジネスの概要	ファッションビジネスの概要 繊維ファッション産業の流れ	
7	ファッション消費と消費者行動	ファッション消費と消費者行動 ライフスタイルとファッション お客様の購買行動	
8	アパレル産業と小売業	アパレル産業の概要 ファッション小売業の概要	
9	ファッション・マーケティング	マーケティングの基礎知識 マーケティング上の分類方法 市場調査の基礎知識	
10	ファッション・マーチャライジング	マーチャライジング基礎知識 商品企画・生産・販売の流れ 売場商品構成の基礎知識	
11	ファッション流通	流通 ファッション小売業の仕組みと業務	
12	ビジネス基礎知識	会社に関する基礎知識 企業の組織 企業会計 係数知識	
13	模擬試験	模擬試験実地	
14	模擬試験 解答・解説	模擬試験を通じ出題傾向と対策を考えます。	
15	CSの重要性	お客様に満足して頂ける販売。顧客満足度について学びます。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、ファッションビジネス能力検定 3 級試験結果を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス、造形とも 3 級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス、造形とも 3 級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス、造形とも 3 級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ビジネスコミュニケーション		彌島 康朗	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
<p>昨今の社会環境が激しく変化し「正解」が見えない社会では、取り組むべき課題を自ら設定し、常識にとらわれず新しい可能性を貪欲に追求する人材が求められている。</p> <p>授業ではシミュレーションゲーム教材を使ったグループワークでPDCAに取り組み、実社会で役立つビジネスコミュニケーションのスキルアップを図る。中でも情報活用スキルを駆使した企画の立案、プレゼン&質疑応答の修得に注力し自己実現を図る。</p>			
学習到達目標			
<p>ビジネスモデルを素材にシミュレーション&ディスカッション、プレゼンテーション&質疑応答に取り組み、自分資源を最大限活用できるスキルを修得する。特に思い付きを企画に組み立てるプロセスを身につける。</p>			
学習上の助言			
<p>実際の社会環境と重ねつつ、当事者意識を持って自身の資源開発に積極的に取り組む意欲を持って臨んで下さい。</p> <p>学内の有形無形の資産を自ら探し、積極的に有効活用する姿勢を持って臨んで下さい。</p>			
教科書及び教材			
<p>毎回講義使用教材を配布(ビジネスシミュレーションゲーム、ワークシート、自己チェックシート、ビジネス記事、企画シート、マイキャリアカード)</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス 消費者視点でBizシーンをリサーチ	留意すべき取り組み姿勢を伝え、これまでの体験を振り替えさせることで、当事者意識を高める	
2	消費者視点でBizシーンをリサーチ 自分資源開発	自分の体験や知識を社会に結び付けて、再編集し、ストーリー化することに取り組む	
3	実際の社会の中での 自分資源開発	社会のニーズを分析し、対応できるよう自分を企画しプレゼンすることに取り組む	
4	ビジネスモデル分析	見える情報を読解し、見えない情報を推察して視野を広げる	
5	採用目線でシミュレーション	視点転換し、相手目線に立って情報を分解し、読解することに取り組む	
6	ビジネスモデル分析	限られたリソースでより良いパフォーマンスを上げるための企画を検討する	
7	ビジネスモデル分析	自分資源を活用して、チーム独自のファッションビジネスモデルを作り、納得してもらうプレゼンを工夫する	
8	自分企画	自分独自のファッションビジネスを企画し、プレゼンする	
		授業回数は180分で8回になります	
成績評価の目安と方法			
<p>出席日数・受講態度、各授業におけるワークシート・自己評価シート、期末におけるレポートを40:20:40の比重で配点し、総合評点が60点以上を合格とする。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	広い視野で情報収集し、独自の分析をし、相手の立場に立ってプレゼンできる		
B	見えない情報も推察して情報収集を行い、多角度な視点で分析、編集できる		
C	情報を収集し、意図をもって編集し、発信できる		
D	相手の質問意図を汲むことができず一方的な発信、受信になりがち		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス 1		茂垣 晴菜	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
Macintoshの基本操作をはじめ、Adobe PhotoshopやAdobe illustratorの基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。			
学習到達目標			
Macintoshを使用して、Adobe PhotoshopやAdobe illustratorをメインに、イメージを表現する為のツールとして各種ソフトの特徴を理解して使用ができるようになることを目的とします。			
学習上の助言			
コンピュータ知識、技術を習得し仕事を進める上での効率性アップなどにつながるように基礎から身につけましょう。			
教科書及び教材			
解説プリント及び見本、トレーニングファイル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	PCルーム、システム、各種ソフトの使用法と注意事項	
2	Adobe illustrator	用紙設定、各種ツール説明、写真の配置と文字の重ね方をはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、フォトショップとの互換性を副教材を使用し習得する。	
3	Adobe Photoshop	用紙設定、各種ツール説明、レイヤー、フィルターをはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、イラストレーターとの互換性を副教材を使用し習得する。	
4	Tシャツデザインコンテスト 1	作品テーマ、エントリー規定説明、複合機の使用法、デザイン実習	
5	Tシャツデザインコンテスト 2	デザイン実習	
6	Tシャツデザインコンテスト 3	デザイン実習	
7	Tシャツプリント 1	インクジェットプリンター実習	
8	Tシャツプリント 2	インクジェットプリンター実習	
9	Tシャツプリント 3	インクジェットプリンター実習	
10	Tシャツプリント 4	作品の仕上げ、完成データ提出	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe Photoshopの基本的機能を理解、作品に反映されている		
B	Adobe Photoshopの基本的機能をおおむね理解、作品に反映されている		
C	Adobe Photoshopの基本的機能を最低限理解している		
D	特定の技術習得ができていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
マーケットリサーチ 1		高橋あやめ・小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。見学前には必ず事前情報を与えますので、目的や疑問を持ち、それを生かした見学の仕方をして下さい。			
学習到達目標			
「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する。」学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積させて下さい。			
学習上の助言			
リサーチ内容は必ずレポートでまとめ、知識の蓄積をしていきます。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アート鑑賞 1	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
2	アート鑑賞 2	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
3	アート鑑賞 3	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
4	アート鑑賞 4	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
5	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
6	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
7	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
8	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
9	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
10	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が出欠確認となります。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況と内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出できている。		
C	リサーチしたことをレポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	リサーチしたことをレポートにまとめるが、未提出がある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションセミナー1		高橋あやめ・小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。			
学習到達目標			
ファッションデザインをする際、トレンド（ファッションの傾向）はいつも意識しなくてはいけないものです。この時間はそのトレンドをつかむことを目的に実施する授業です。また、業界の著名人等の講演もあり、ファッションについてどのような考えを持っているか参考にして下さい。			
学習上の助言			
トレンドセミナーではわからない用語が出てくると思います。意味は必ず自分で調べるようにして下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
2	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
3	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
4	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
5	衣装セミナー	ミュージカル事前指導 見所の解説 『劇団四季 美女と野獣』	
6	衣装セミナー	ミュージカル見学～衣装セミナー 『劇団四季 美女と野獣』	
7	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
8	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
9	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
10	ファッショントーク・ライブ	特別講義 業界著名人による講演	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が出欠確認となります。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況と内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出できている。		
C	レポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	レポートにまとめるが、未提出がある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション 1		高橋あやめ・小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
クリエイションワークで製作された企画やアパレル技術で製作した作品のプレゼンテーションをおこないます。			
学習到達目標			
説明する内容のスムーズな組み立て、声の大きさ、自分自身の立ち振る舞い、全てに神経を使いベストな状態で伝える意識と行動を身につけて下さい。			
学習上の助言			
ファッションは他者からの共感が大切です。そのためにはそれを伝える事が大変重要です。恐れずチャレンジして下さい。			
教科書及び教材			
その都度指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼンテーション見学	上級生のプレゼンテーション見学	
2	プレゼンテーション見学	ファッションスタイリング科 1 年生のプレゼンテーション見学	
3	プレゼンテーション準備	話の組み立てやツールの使い方の準備	
4	プレゼンテーション準備	クラス内でのプレゼンテーション練習	
5	プレゼンテーション 1	クリエイションワーク 1	プレゼン 実施～評価
6	プレゼンテーション 2	クリエイションワーク 2	プレゼン 実施～評価
7	プレゼンテーション 3	クリエイションワーク 3	プレゼン 実施～評価
8	プレゼンテーション 4	アパレル技術 1、2	プレゼン 実施～評価
9	プレゼンテーション 5	アパレル技術 3、4	プレゼン 実施～評価
10	プレゼンテーション 6	アパレル技術 5	プレゼン 実施～評価
成績評価の目安と方法			
プレゼンテーション実施前に提示する評価基準にそって教員が評価します。望む姿勢、声の大きさ、ツールの使い方、聞きやすさ、等が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス2		茂垣 晴菜	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
必修科目コンピューターグラフィックス1で学んだ基本操作の復習と、主にシルクスクリーン手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。			
学習到達目標			
必修科目コンピューターグラフィックス1で学んだ知識、技術を更に深め、より完成度の高いデータ（主にAdobe illustrator）と作品を仕上げられるようになることを目的とします。			
学習上の助言			
プロの現場でも活用出来るAdobe illustratorの基礎を理解し将来に役立てましょう。			
教科書及び教材			
作品見本illustratorファイル、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ソフトの互換性について	Adobe illustrator、Photoshopの基本操作復習	
2	Adobe illustrato技術習得1	デザイン実習1とテスト、シルクスクリーンプリントの構造説明	
3	Adobe illustrato技術習得2	デザイン実習2とテスト、デザイン相談	
4	CGデザイン実習	デザイン実習3とテスト	
5	CGデザイン実習	デザイン実習4	
6	CGデザイン実習	デザイン実習5	
7	シルクスクリーン製作	シルクスクリーン版の製作	
8	シルクスクリーンプリント	インク配合とプリント実習	
9	シルクスクリーンプリント	作品の仕上げ、完成データ提出	
10	テスト	Adobe illustrator作品製作テスト	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解、作品に反映されている		
B	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解をおおむね理解、作品に反映されている		
C	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能を最低限理解、作品に反映されている		
D	特定の技術習得ができていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス 1		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	アパレルプロフェッショナル科 1 年	1
授業概要			
就職を希望する学生が就職活動についての知識とスキルを身につけることを目的とする。			
学習到達目標			
業界や職種、就職活動についての方法を理解することを目指す。			
学習上の助言			
授業内では毎回課題を出します。遅刻をしない様に出席してください。 企業の方に来校いただく関係で授業内容が多少前後する可能性があります。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業の概要を理解する	
2	就職についての理解	働くことの意義・重要性について考える	
3	就職についての理解	求められる資質、社会人基礎力について考える	
4	業界、職種理解	アパレル業界や職種について	
5	企業説明	実際に企業の人事を呼びアパレル業界、企業理解を深める	
6	企業説明	実際に企業の人事を呼びアパレル業界、企業理解を深める	
7	企業説明	実際に企業の人事を呼びアパレル業界、企業理解を深める	
8	企業説明	実際に企業の人事を呼びアパレル業界、企業理解を深める	
9	内定者報告会	企業に内定している先輩から就職活動の体験談を聞く	
10	企業分析	志望動機作成	
11	企業分析	志望動機作成	
12	自己分析	自己PR作成	
13	自己分析	自己PR作成	
14	履歴書	履歴書の書き方、封筒の書き方、送付状について	
15	履歴書	履歴書の書き方、封筒の書き方、送付状について	
成績評価の目安と方法			
各回で実施する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う		授業実施回数 2 / 3 以上の出席を要する	
評価	成績評価別の到達度		
A	就職活動についての基礎知識を十分に理解した		
B	就職活動についての基礎知識を良く理解した		
C	就職活動についての基礎知識を理解した		
D	単位認定不可		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
技術認定対策講座 [初級]		松山 由未	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
様々な科目から学んだ知識の中から基本的な服装知識・素材・縫製・製図等を整理分類し、技術検定初級の受験対策として学ぶ			
学習到達目標			
洋裁技術検定初級合格			
学習上の助言			
基本のファッション用語を日常出来るだけ使用し、身に付けましょう			
教科書及び教材			
洋裁技術検定試験問題集・ファッション辞典・服地がわかる事典・パターン用具（縮尺1/4）一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	服装知識	一般的な服種の名称	
2	//	ディテール（ネックライン・衿・袖）の種類と名称	
3	//	部分的服飾及び服飾手芸の基本的種類と名称	
4	素材について	繊維の名称と種類、特徴・布地の種類と基本的な名称	
5	基本的な製図	原型の理解・基本のダーツの考え方	
6	//	衿の形と製図・袖山の高さと、幅、運動量の関係	
7	地直し・裁断	素材による地直し方法の違い・用布の見積もり方・布地の裁断の留意点	
8	縫製	針の名称と素材に適切な針の太さ・糸の名称と素材に適切な糸の太さ	
9	//	素材に対する縫製上の留意点・素材に対して適切なアイロン使用法	
10	補正法	体系によってでるしわの原因と補正法	
11	スカートの製図（縮尺1/4）	スカートのシルエットと構造線の考え方（フレアスカート・インバーテッドプリーツスカート）	
12	//	スカートのシルエットと構造線の考え方（ゴアードスカート・ヨークスカート）	
13	//	スカートのシルエットと構造線の考え方（ティアードスカート）	
14	模擬試験		
15	模擬試験（解答・説明）		
成績評価の目安と方法			
洋裁技術検定初級合格・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	洋裁技術検定初級合格・基本スカートの構造を良く理解しパターンとして表現できる		
B	洋裁技術検定初級合格・基本スカートの構造を理解しパターンとして表現できる		
C	基本スカートの構造を理解しパターンとして表現できる		
D	服装知識・基本スカートの構造等の理解が不足している		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース1		高橋あやめ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科年	2
授業概要			
学園祭や武蔵野フェス! ハロウィンパーティー の準備、実施 からHRなど含まれます。必ず出席して下さい。			
学習到達目標			
社会人基礎力を養う授業です。履修目的を理解して受講してください。			
学習上の助言			
組織で目標達成が時間内で出来るように、自発的に考え物事を進めて下さい。また、問題に直面した際は仲間や担当教員と相談をし、適切な対応ができるようにして下さい。			
教科書及び教材			
その都度、必要なものを支持します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1、2	武蔵野フェス!	イベント準備 打ち合わせ	
3~6	武蔵野フェス!	イベント準備作業	
7、8	武蔵野フェス!	イベント実施	
9~16	学園祭	インスタレーション 準備作業	
17、18	学園祭	インスタレーション 準備作業	
19~22	学園祭	インスタレーション 準備作業	
23、24	学園祭	撤収作業	
25、26	ハロウィンパーティー	ハロウィンパーティー 打ち合わせ	
27、28	ハロウィンパーティー	イベント準備作業 実施	
29、30	ハロウィンパーティー	撤収	
成績評価の目安と方法			
出席状況と課題への取り組み姿勢、課題の成果を総合的に評価。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力が十分身につき模範的行動が出来るレベルである。		
B	社会人基礎力が身につき行動出来るレベルである。		
C	社会人基礎力は身につつつあるが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション 1		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科 2 年	2
授業概要			
期間限定ショップに向けた商品企画の授業です。商品コンセプト、デザインテーマを組み立て、それからデザインを製作します。授業の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
販売時期やトレンドを意識しながら創造的なデザインを生み出す事の大切さを学び、価値を創造する大切さを理解してください。			
学習上の助言			
デザイン相談は個別に行っていきます。批判を恐れず、自分の意思を伝えてください。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をして下さい。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	期間限定ショップへの理解の促し諸品製作上、押さえるポイントの説明をします。	
2～4	テーマ作り	販売時期を考慮し、商品を魅力的に伝えるテーマを作る。	
5	テーマのプレゼン	ラフ段階でクラス内でテーマをプレゼン。他者のテーマや考え方を参考にして自分のテーマの修正を図ってください。	
6～10	イメージボード製作	設定したテーマのイメージビジュアルを作っていきます。	
11～12	素材リサーチ	使用素材の手配	
13～16	デザインワーク	テーマに沿ったデザインを製作。	
17	チュートリアル	個別にデザイン相談	
18	修正作業～修正確認	指摘事項を消化する修正作業～デザイン完成	
19	デザイン完成 プレゼン準備	企画内容を要約したレジュメを作ります。	
20	レジュメ完成	レジュメ完成	
成績評価の目安と方法			
課題に対する理解度、製作物の作業量、完成度を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	販売時期やトレンドを理解し、価値を感じさせる商品を企画し、その内容をレジュメに表現できた。		
B	販売時期やトレンドを理解し、価値を感じさせる商品を企画できた。		
C	授業に参加し、個性的なデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション2		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
11月のincubate collection での発表に向けたデザイン製作の授業です。コンセプト、デザインテーマを組み立て、それからデザインを製作します。課題の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
そのデザインは誰に対しての物なのかを明確に意識し、個性的なデザインを生み出す事の大切さを学び、美しさの表現に全力を尽くす。			
学習上の助言			
デザイン相談は個別に行っていきます。批判を恐れず、自分の意思を伝えてください。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をしてください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	コレクションへの理解の促し、押さえるべきポイントの説明をします。過去のコレクションの映像や写真で参考作品を批評します。	
2	テーマ作り	時代感を感じさせるテーマ作り	
3	テーマ プレゼン	ラフの段階でクラス内でテーマのプレゼン。他者のテーマや考え方を参考にし、自分のテーマの修正をはかってください。	
4	イメージボード製作	設定したテーマのイメージヴィジュアルを作っていきます。	
5	デザインワーク	テーマに沿ったデザイン製作します。同時に使用する素材のリサーチを行います。	
6	デザインワーク	テーマに沿ったデザイン製作します。同時に使用する素材のリサーチを行います。	
7	チュートリアル	個別にデザイン相談。修正箇所の指摘。	
8	修正作業～修正確認	デザインの修正作業～デザイン完成。	
9	デザイン完成 プレゼン準備	イメージボード、デザインが、テーマや商品内容のポイントを要約したレジュメを作ります。	
10	レジュメ完成	イメージボード、デザインが、テーマや商品内容のポイントを要約したレジュメを作ります。	
成績評価の目安と方法			
課題に対する理解度、製作物の作業量、完成度を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
B	個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
C	授業に参加し、個性的なデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション3		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
学園祭での卒業製作として発表する作品のデザイン製作の授業です。コンセプト、デザインテーマを組み立て、それからデザインを製作します。課題の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
そのデザインは誰に対しての物なのかを明確に意識し、個性的なデザインを生み出す事の大切さを学び、美しさの表現に全力を尽くし、2年間の集大成として見栄えのする作品を目指してください。			
学習上の助言			
デザイン相談は個別に行っていきます。批判を恐れず、自分の意思を伝えてください。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をしてください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	卒業製作で押さえるべきポイントの説明をします。過去のコレクションの映像や写真で参考作品を批評します。	
2	テーマ作り	時代感、個性を感じさせるテーマ作り	
3	テーマ プレゼン	ラフの段階でクラス内でテーマのプレゼン。他者のテーマや考え方を参考にし、自分のテーマの修正をはかってください。	
4	イメージボード製作	設定したテーマのイメージビジュアルを作っていきます。	
5	デザインワーク	テーマに沿ったデザイン製作します。 同時に使用する素材のリサーチを行います。	
6	デザインワーク	テーマに沿ったデザイン製作します。 同時に使用する素材のリサーチを行います。	
7	チュートリアル	個別にデザイン相談。修正箇所の指摘。	
8	修正作業～修正確認	デザインの修正作業～デザイン完成。	
9	デザイン完成 プレゼン準備	イメージボード、デザイン画、テーマや商品内容のポイントを要約したレジュメを作ります。	
10	レジュメ完成	イメージボード、デザイン画、テーマや商品内容のポイントを要約したレジュメを作ります。	
成績評価の目安と方法			
課題に対しての理解度、製作物の作業量、完成度を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、個性をいかしたデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
B	個性をいかしたデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
C	個性をいかしたデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン1		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
期間限定ショップに向けての商品製作課題です。この時間ではデザインクリエイション1で製作されたデザインをパターンに起こす授業です。デザイン画の雰囲気表現するために、1年時で学んだ基礎の応用ではすることを学びます。			
学習到達目標			
自分のオリジナルデザインをパターン表現します。パターンメイキングの基礎からの応用を学びます。また、商品として必要な機能性を考慮したものを製作すること。			
学習上の助言			
1年時で学んだ基礎だけでは表現出来ない領域になります。新しい技術を学ぶ機会となりますので積極的に挑戦して下さい			
教科書及び教材			
ドレーピング及びパターンメイキングの出来る準備。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	製作相談	使用素材とデザインを照らし合わせながら個別相談	
2	パターンメイキング	9号サイズパターン展開	
3	パターンメイキング	9号サイズパターン展開	
4	パターンメイキング	9号サイズパターン展開	
5	パターンメイキング	9号サイズパターン展開	
6	トワル組	ピンうち	
7	トワルチェック	担当講師によるトワルチェック	
8	トワル修正	修正作業	
9	トワルチェック	校長先生によるトワルチェック	
10	修正作業～完成	修正箇所の確認しパターンを完成させます。	
成績評価の目安と方法			
技術力、作業の丁寧さ、トワルの仕上がり授業参加状況等を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	デザイン画の雰囲気も忠実にトワルに表現されており、期日ど通りにパターンが仕上がっている。		
B	トワルの表現は問題がないレベルであり、期日ど通りにパターンが仕上がっている。		
C	トワルとしては問題がないレベルであるが、パターンの仕上がりが遅れた。		
D	完成期日には遅れたが完成させた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン2		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
ファッションショーで発表する作品製作課題です。この時間ではデザインクリエイション2で製作されたデザインをパターンに起こす授業です。デザイン画の雰囲気表現するために、1年時で学んだ基礎の応用ではすることを学びます。			
学習到達目標			
自分のオリジナルデザインをパターン表現します。パターンメイキングの基礎からの応用を学びます。また、として必要な機能性を考慮したものを製作すること。			
学習上の助言			
モデルが着てランウェイ上で作品が最高に美しい状態となる用、チェック段階からそこを目標に進行して下さい。			
教科書及び教材			
ドレーピング及びパターンメイキングの出来る準備。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	製作相談	使用素材とデザインを照らし合わせながら個別相談	
2	パターンメイキング	モデルに合わせてのパターン展開グレーディングの考え方講義	
3	パターンメイキング	モデルに合わせてのパターン展開グレーディング作業	
4	トワル組	半身トワル組み（ピンうち）	
5	トワル修正	トワル修正作業	
6～8	トワル組	トワル両身組み	
9～11	トワルチェック	担当講師によるトワルチェック	
12～14	トワル修正	修正作業	
15～16	トワルチェック	校長先生によるトワルチェック	
17～20	修正作業～完成	修正箇所の確認しパターンを完成させます。	
成績評価の目安と方法			
技術力、作業の丁寧さ、トワルの仕上がり授業参加状況等を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	デザイン画の雰囲気も忠実にトワルに表現されていて、期日ど通りにパターンが仕上がっている。		
B	トワルの表現は問題がないレベルであり、期日ど通りにパターンが仕上がっている。		
C	トワルとしては問題がないレベルであるが、パターンの仕上がりが遅れた。		
D	完成期日には遅れたがパターンを完成させた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン3		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
卒業製作課題のパターン製作です。この時間ではデザインクリエイション3で製作されたデザインをパターンに起こす授業です。デザイン画の雰囲気表現するために、ここまで学んだ技術を生かしていきます。			
学習到達目標			
自分のオリジナルデザインをパターン表現します。パターンメイキングの基礎からの応用を学びます。また、として必要な機能性を考慮したものを製作すること。			
学習上の助言			
卒業製作課題のパターン製作です。2年間の集大成となる様、丁寧に進行して下さい。			
教科書及び教材			
ドレーピング及びパターンメイキングの出来る準備。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	製作相談	使用素材とデザインを照らし合わせながら個別相談	
2	パターンメイキング	モデルに合わせてのパターン展開グレーディングの考え方講義	
3	パターンメイキング	モデルに合わせてのパターン展開グレーディング作業	
4	トワル組	半身トワル組み（ピンうち）	
5	トワル修正	トワル修正作業	
6	トワル組	トワル両身組み	
7	トワルチェック	担当講師によるトワルチェック	
8	トワル修正	修正作業	
9	トワルチェック	校長先生によるトワルチェック	
10	修正作業～完成	修正箇所の確認しパターンを完成させます。	
成績評価の目安と方法			
技術力、作業の丁寧さ、トワルの仕上がり授業参加状況等を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	デザイン画の雰囲気も忠実にトワルに表現されており、期日ど通りにパターンが仕上がっている。		
B	トワルの表現は問題がないレベルであり、期日ど通りにパターンが仕上がっている。		
C	トワルとしては問題がないレベルであるが、パターンの仕上がりが遅れた。		
D	完成期日には遅れたがパターンを完成させた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング1		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	3
授業概要			
期間限定ショップに向けての商品製作課題です。この時間ではクリエーションパターン1で製作されたパターンを使っての作品製作です。デザイン画の雰囲気表現するためには、1年時の基礎編では不足ですので新しい技術に挑戦することが必要です。			
学習到達目標			
期間限定ショップで販売するものです。商品として販売可能な品質を持ったものを製作すること。			
学習上の助言			
期間限定ショップで販売するものです。商品として販売可能な品質を持ったものを製作することは勿論ですが、販売スタッフが自信を持っておすすめできる商品を目指してください。			
教科書及び教材			
ソーイングセット			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1～2	裁断	裁断作業	
2～4	芯貼り作業	作品の雰囲気に合わせた固さを出す接着芯の選択。 接着作業 伸び止めテープはり	
5～27	本縫い	縫製作業 デザインが個人ごとに違いますので製作指導は個人ごとにおこないます。	
28	作品チェック	担当講師による完成チェック	
29	作品チェック	校長先生による完成チェック	
30	修正作業	必要に応じて修正作業～提出	
成績評価の目安と方法			
技術力、作業の丁寧さ、作品の仕上がり、授業参加状況等を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	期日通りに完成し、縫製も丁寧に仕上げられ、商品の品質としても問題がない。		
B	期日通りに完成し、商品の品質としては問題がないレベルである。		
C	完成期日には遅れたが、商品の品質としては問題がないレベルである。		
D	完成期日には遅れたが完成させた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング 2		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 2 年	3
授業概要			
ファッションショー incubate collection で発表する作品の製作課題です。この時間ではクリエーションパターン 2 で製作されたパターンを使っての縫製工程の授業です。デザイン画の雰囲気表現するためには使用素材も扱いが難しくなると思います。モデリング 1 同様、1 年時の基礎技術だけでは不足ですので新しい技術に挑戦することが必要です。			
学習到達目標			
ランウェイ上で最高の見せ方ができるよう、難度の高い技術に積極的に取り組み、期限内に仕上げてください。			
学習上の助言			
ファッションショー incubate collection で発表する作品の製作課題です。ランウェイ上で最高の状態で見せられる様、縫製についても努力してください。			
教科書及び教材			
ソーイングセット			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1～2	裁断	裁断作業	
2～4	芯貼り作業	作品の雰囲気に合わせた固さを出す接着芯の選択。 接着作業 伸び止めテープはり	
5～27	本縫い	縫製作業 デザインが個人ごとに違いますので製作指導は個人ごとにおこないます。	
28	作品チェック	担当講師による完成チェック（モデル着用）	
29	作品チェック	校長先生による完成チェック（モデル着用）	
30	修正作業	必要に応じて修正作業～再確認～提出	
成績評価の目安と方法			
技術力、作業の丁寧さ、作品の仕上がり、授業参加状況等を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	期日通りに完成し、縫製も丁寧に仕上げられ、品質も問題がない。		
B	期日通りに完成し、品質は問題がないレベルである。		
C	完成期日には遅れたが、品質としては問題がないレベルである。		
D	完成期日には遅れたが完成させた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング 3		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 2 年	2
授業概要			
学園祭で発表する卒業作品の製作課題です。この時間ではクリエーションパターン 3 で製作されたパターンを使っての縫製工程の授業です。学園祭賞の対象となる作品ですので、2 年間の集大成として丁寧に仕上げてください。			
学習到達目標			
2 年間の集大成です。学んできた技術を生かした作品に仕上げてください。			
学習上の助言			
2 年間の集大成です。学んできた技術を生かした作品に仕上げてください。			
教科書及び教材			
ソーイングセット			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1～2	裁断	裁断作業	
2～4	芯貼り作業	作品の雰囲気に合わせて固さを出す接着芯の選択。 接着作業 伸び止めテープはり	
5～17	本縫い	縫製作業 デザインが個人ごとに違いますので製作指導は個人ごとにおこないます。	
18	作品チェック	担当講師による完成チェック（モデル着用）	
19	作品チェック	校長先生による完成チェック（モデル着用）	
20	修正作業	必要に応じて修正作業～再確認～提出	
成績評価の目安と方法			
技術力、作業の丁寧さ、作品の仕上がり、授業参加状況等を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	期日通りに完成し、縫製も丁寧に仕上げられ、品質も問題がない。		
B	期日通りに完成し、品質は問題がないレベルである。		
C	完成期日には遅れたが、品質としては問題がないレベルである。		
D	完成期日には遅れたが完成させた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断 3		松山 由未	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 2 年	1
授業概要			
立体裁断によるアイテムの表現実習			
学習到達目標			
立体裁断の基本技術の習熟。製品と作品表現のための応用技術の習得。			
学習上の助言			
作品を具現化していく上で有効なテクニックです。表現する喜びも会得してください。			
教科書及び教材			
洋裁用具、製図用具、鉛筆、3色ボールペン、ノート。必要に応じて、レジュメを配布。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	基本テクニックと基礎知識	
2	スカートバリエーション 1	Aラインスカート	
3	スカートバリエーション 2	フレアスカート	
4	シルエットとディティール 1	シルエットのバリエーション	
5	シルエットとディティール 2	衿、袖のバリエーション	
6	ワンピースドレス 1	見頃ドレーピング 1	
7	ワンピースドレス 2	見頃ドレーピング 2	
8	ワンピースドレス 3	衿ドレーピング	
9	ワンピースドレス 4	袖ドレーピング	
10	ワンピースドレス 5	補正、パターンメイキング	
成績評価の目安と方法			
技術、課題提出、取り組み姿勢を総合的に評価。1 / 3 以上の欠席は評価 D とします。			
評価	成績評価別の到達度		
A	基本技術を確実に習得し、課題に反映、適切に表現できる。		
B	基本技術を確実に習得し、課題に反映、表現できる。		
C	基本技術をもとに課題を提出できる。		
D	課題に未熟な点が多く見られる。課題の未提出。1 / 3 以上の欠席。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD 2		窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 2 年	1
授業概要			
CADの基本操作を理解し、ブラウスのパターン展開ができるようになる。			
学習到達目標			
アパレル業界で必要不可欠となったアパレルCADを現状の理解とともに操作方法も学習する。その上で基本アイテムのパターンメイキングの演習を行いながら、アパレル企業で活用出来る能力を修得する。			
学習上の助言			
授業ではプリントを配布するので、A4サイズのファイルとUSBメモリ（1GB以上）を準備すること。授業で行ったことはメモを取り、復習または次回の授業時に活かせるようにファイリングすること。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	スキャナ入力、プロッター出力	CADの基本操作復習、スキャナ読み込み（2～3人組）、トレース、プロッター出力	
2	パターンメイキングV	原型のダーツ操作	
3	パターンメイキングVI	ストレートブラウス原型から台衿付きシャツカラーのブラウスへの展開	
4	パターンメイキングVII	ストレートブラウス原型から台衿付きシャツカラーのブラウスへの展開	
5	パターンメイキングVIII	線のつながり修正、縫い代付け	
6	テスト	1～5までの復習テスト	
7			
8			
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	全出席と、課題の全提出。積極的に授業に参加し、内容を理解した上でCADが応用操作ができる。		
B	2/3以上の出席。授業態度も良好で積極的に課題に取り組む。内容を理解した上でCADの基本操作ができる。		
C	過半数の出席。授業態度や課題への取り組みも普通。CADの基本操作がまあまあできる。		
D	単位取得不可		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンテクニック 1		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 2 年	1
授業概要			
パターンメイキングに関する基礎知識・技術をパターンメイキング技術検定 3 級筆記試験対策を兼ねて学ぶ			
学習到達目標			
パターンメイキング技術検定 3 級筆記試験合格			
学習上の助言			
製図の筆記試験は縮尺 1 / 2 なので、1 / 2 のバランス感覚を身に付けましょう			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定 3 級ガイドブック・パターン用具一式・授業時配布資料			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	グレーディングの考え方	スカートのグレーディングの考え方と実技・身頃のグレーディングの考え方と実技	
2	ブラウスのファーストパターンメイキング	身頃のパターン（シルエット・構造線の考え方）	
3	//	カラーの考え方とネックラインの関係（パターンメイキング 5 の復習を兼ねる）	
4	//	袖と身頃の関係・袖山の考え方・袖の平面展開	
5	有り型から展開	デザインブラウスのファーストパターンメイキング	
6	工業用パターンの知識	工業用パターン記号、縫代の考え方・縫い代付けの実技	
7	素材の知識	素材とファーストパターンメイキング	
8	模擬試験	模擬試験（理論）～解答・説明	
9	模擬試験	模擬試験（製図）～解答・説明	
10	試験対策	パターンメイキング技術検定 3 級筆記試験対策	
成績評価の目安と方法			
パターンメイキング技術検定 3 級筆記試験の結果・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	パターンメイキング技術検定 3 級筆記試験合格と基本ブラウスのシルエット・構造を良く理解している		
B	パターンメイキング技術検定 3 級筆記試験合格と基本ブラウスのシルエット・構造を理解している		
C	基本ブラウスのシルエット・構造を理解している		
D	基本ブラウスのシルエット・構造の理解度が不足している		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマテリアル2		竹内 忠男	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	アパレルプロフェッショナル科2年生	1
授業概要			
講義方式とし教員の用意する実際のテキスタイル資料、又PPTの画像等使用し、実際の素材にも触れながらそれらを手と目で学ばせる授業内容を考慮進行する。			
学習到達目標			
自らの作品クリエーションを高度なものとするため、1年次に学習した基本を復習しながら、より深いテキスタイル知識を習得し、又現状のファッション市場、状況の理解も深める。			
学習上の助言			
講義内容等に疑問、質問等があるときはその時間内に回答を求め、問題を解決しておくこと。			
教科書及び教材			
教科書及びテキストは使用せず、教員が用意する素材資料、又コピーを教材とする。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	授業全体ガイダンス	具体的授業内容とその進行方法の解説。	
2	1. 素材基礎知識	1年次学習内容の確認。	
3	2. 素材実際知識	天然繊維基本素材の種類と特徴の解説。	
4	3. 素材実際知識	//	
5	4. 素材実際知識	化学繊維素材の種類と特徴の解説。	
6	5. 素材実際知識	テキスタイル組織構造（織・編等）の種類と特徴の解説。	
7	6. 素材実際知識	//	
8	7. 素材実際知識	テキスタイルの染色、仕上げ加工の解説。	
9	マーケティングとマーチャンドライジング	ファッションマーケティングとマーチャンドライジングの解説。	
10	日本のテキスタイル産地の現状	国内のテキスタイル産地の商品解説に加え、海外のテキスタイル産地の解説も含める。	
11	日本の流通の現状	テキスタイル流通事情の解説（川上から川下まで）。	
12	ファッション業界スケジュール	国内外のファッション業界スケジュール（各コレクション、テキスタイル展示を含めて）の解説。	
13	これからのデザインの方向性	これからの経済の有り方とそれに並行して変化するデザイン変化を解説。	
14	評価テスト実施	習得知識の筆記テストを実施。	
15	評価テスト解答と総合復習	テスト解答解説と質疑応答。	
成績評価の目安と方法			
知識習得評価の満点を60点とし、受講姿勢の満点を10点として評価。			
評価	成績評価別の到達度		
A	講義内容の殆どを自ら習得したと認識。		
B	講義内容を少し理解できないところはあるが、かなりの範囲で習得出来た。		
C	講義内容の半分は理解出来た。		
D	講義内容を部分的にしか理解できなかった。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
マーケットリサーチ 2		小西 広実・小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 2 年	1
授業概要			
店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。見学前には必ず事前情報を与えますので、目的や疑問を持ち、それを生かした見学の仕方をして下さい。			
学習到達目標			
「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する。」学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積させて下さい。			
学習上の助言			
リサーチ内容は必ずレポートでまとめ、知識の蓄積をしていきます。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アート鑑賞 1	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
2	アート鑑賞 2	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
3	アート鑑賞 3	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
4	アート鑑賞 4	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
5	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
6	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
7	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
8	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
9	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
10	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が出欠確認となります。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況と内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出できています。		
C	リサーチしたことをレポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	リサーチしたことをレポートにまとめるが、未提出がある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションセミナー2		小西 広実・小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。			
学習到達目標			
ファッションデザインをする際、トレンド（ファッションの傾向）はいつも意識しなくてはいけないものです。この時間はそのトレンドをつかむことを目的に実施する授業です。また、業界の著名人等の講演もあり、ファッションについてどのような考えを持っているか参考にして下さい。			
学習上の助言			
トレンドセミナーではわからない用語が出てくると思います。意味は必ず自分で調べるようにして下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
2	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
3	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
4	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
5	衣装セミナー	ミュージカル事前指導 見所の解説 『劇団四季 美女と野獣』	
6	衣装セミナー	ミュージカル見学～衣装セミナー 『劇団四季 美女と野獣』	
7	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
8	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
9	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
10	ファッショントーク・ライブ	特別講義 業界著名人による講演	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が出欠確認となります。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況と内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出できています。		
C	レポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	レポートにまとめるが、未提出がある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション2		小西 広実・小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
デザインクリエイションで製作された企画やモデリングで製作した作品のプレゼンテーションをおこないます。			
学習到達目標			
説明する内容のスムーズな組み立て、声の大きさ、自分自身の立ち振る舞い、全てに神経を使いベストな状態で伝える意識と行動を身につけて下さい。			
学習上の助言			
ファッションは他者からの共感が大切です。そのためにはそれを伝える事が大変重要です。恐れずチャレンジして下さい。			
教科書及び教材			
プレゼンテーションで使う作品			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼンテーション見学	ファッションスタイリング科2年生のプレゼンテーション見学	
2	プレゼンテーション見学	ファッションスタイリング科2年生のプレゼンテーション見学	
3	プレゼンテーション準備	話の組み立てやツールの使い方の準備	
4	プレゼンテーション準備	クラス内でのプレゼンテーション練習	
5	プレゼンテーション1	期間限定ショップ 企画プレゼン 実施～評価	
6	プレゼンテーション2	期間限定ショップ 商品プレゼン 実施～評価	
7	プレゼンテーション3	incubatecollection デザインプレゼン 実施～評価	
8	プレゼンテーション4	incubatecollection トワルチェック 実施～評価	
9	プレゼンテーション5	incubatecollection 作品プレゼン 実施～評価	
10	プレゼンテーション6	卒業製作企画プレゼン 実施～評価	
成績評価の目安と方法			
プレゼンテーション実施前に提示する評価基準にそって教員が評価します。望む姿勢、声の大きさ、ツールの使い方、聞きやすさ、等が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンテクニック2		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
パターンメイキングに関する基礎知識・技術をパターンメイキング技術検定3級実技試験対策を兼ねて学ぶ			
学習到達目標			
パターンメイキング技術検定3級実技試験合格			
学習上の助言			
ブラウスのパターンメイキング～トワル組立ての実習時間を多くとります。平面と立体の関係実感し、パターン・トワルを美しく仕上げる様、努力しましょう。			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック・パターン用具一式・配布資料			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	実技試験について	準備する物・採点の基準の説明(トワル・展開パターン・ファーストパターンパターンについて)	
2	ブラウスパターン作成・トワル組み立て	デザイン画から丈・シルエット・構造・ディテール・バランス等、情報の読み取り方	
3	//	ブラウスのシルエットパターン・身頃の構造・打ち合い等ディテールの考え方	
4	//	カラー・袖のパターン・ファーストパターンに必要な記号	
5	//	パターンのラインの書き方・トワルの組み立て方	
6	模擬試験(シャツブラウスA)	デザイン画を読みとる→パターン作成→トワル組立て→修正→ファーストパターン作成→提出	
7	//	時間内に提出し、デザイン画のイメージがトワルで表現されているか確認→修正	
8	模擬試験(シャツブラウスB)	デザイン画を読みとる→パターン作成→トワル組立て→修正→ファーストパターン作成→提出	
9	//	時間内に提出し、デザイン画のイメージがトワルで表現されているか確認→修正	
10	復習	模擬試験結果をもとに弱点の強化と本試験準備	
成績評価の目安と方法			
パターンメイキング技術検定3級実技試験の結果と模擬試験の結果・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	パターンメイキング技術検定3級実技試験合格とブラウスのシルエット・構造を良く理解しパターン・トワルで美しく表現できる		
B	パターンメイキング技術検定3級実技試験合格とブラウスのシルエット・構造を理解しパターン・トワルで表現できる		
C	ブラウスのシルエット・構造を理解しパターン・トワルで表現できる		
D	ブラウスのシルエット・構造の理解度が不足している		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD 3		窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
グレーディング、マーキングの演習			
学習到達目標			
「CAD1,2」を履修した上でグレーディングやマーキングができるようになる。パターンメイキング、工業用パターン、仕様書作成の一連の流れを学ぶことでアパレル業界に必要な実践的能力を養う。			
学習上の助言			
授業ではプリントを配布するので、A4サイズのファイルとUSBメモリ（1GB以上）を準備すること。授業で行ったことはメモを取り、復習または次回の授業時に活かせるようにファイリングすること。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	展開復習、マーキング	CAD1,2までの復習、マーキング	
2	グレーディングⅠ	グレーディングの基本操作、スカートのグレーディング	
3	グレーディングⅡ	スカートのグレーディング	
4	オリジナルデザインⅠ	オリジナルデザインスカートのパターンメイキング	
5	オリジナルデザインⅡ	オリジナルデザインスカートのパターンメイキング	
6	テスト	1～5までの復習テスト	
7			
8			
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	全出席と、課題の全提出。積極的に授業に参加し、内容を理解した上でCADが応用操作ができる。		
B	2/3以上の出席。授業態度も良好で積極的に課題に取り組む。内容を理解した上でCADの基本操作ができる。		
C	過半数の出席。授業態度や課題への取り組みも普通。CADの基本操作がまあまあできる。		
D	単位取得不可		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
帽子製作		日田 泰造	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
自分でデザインした帽子を製作しています。11月に発表するコレクション作品でトータルコーディネート			
学習到達目標			
自分のイメージしたデザインをいかに厳密に正確により早く美しく仕上げる			
学習上の助言			
ショー作品			
教科書及び教材			
スケッチブック、着色材一式、メジャー、各自製作用素材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	説明～実習	サンプルの解説、素材の解説、道具の解説、デザイン画を描く	
2	製作作業	型入れ、及び作図	
3	製作作業	製作作業	
4	製作作業	製作作業	
5	製作作業	製作作業	
6	製作作業	製作作業	
7	製作作業	製作作業	
8	製作作業	製作作業～完成	
成績評価の目安と方法			
技術力、理解力、課題提出、出席状況を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	道具の使用法を理解し、デザインに適合した素材を選び期日に完成させた。		
B	道具の使用法を理解し、作品を期日に完成させた。		
C	作品を期日に完成させた		
D	道具の理解やデザインに適合した素材選びが未熟であるが作品は完成させた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス 2		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	アパレルプロフェッショナル科 2 年	1
授業概要			
就職を希望する学生が自信を持って就職試験に行けるように自身の考え、表現力をまとめ伝えられる様に、就職試験対策を行う。			
学習到達目標			
自分の考え、作品内容などをまとめた確に伝えることができるようになることを目標とします。			
学習上の助言			
授業内では毎回課題を出します。遅刻をしない様に出席してください。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業の概要を理解する	
2	採用試験について	採用試験の種類を理解する 受験する際の注意事項	
3	面接について	面接の目的 面接官の視点 面接マナーについて	
4	面接練習	個人面接 言葉使い 身だしなみ 姿勢	
5	面接練習	個人面接	
6	企業との連絡の取り方	ビジネスメール、手紙、電話の方法	
7	面接練習	グループ面接 各種役割とその内容について	
8	面接練習	グループ面接	
9	面接練習	グループ面接	
10	面接練習	グループ面接	
11	面接練習	質問事項の答えをまとめる	
12	面接練習	グループディスカッション	
13	面接練習	グループディスカッション	
14	面接練習	グループディスカッション	
15	内定通知の受取方	内定から入社までの流れ お礼状の書き方 内定後の過ごし方	
成績評価の目安と方法			
各回で実施する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う		授業実施回数 2 / 3 以上の出席を要する	
評価	成績評価別の到達度		
A	自分の考え作品内容などをまとめ十分に伝えることができる		
B	自分の考え作品内容などをまとめ良く伝えることができる		
C	自分の考え作品内容などをまとめ伝えることができる		
D	単位認定不可		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース 2		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科 2 年	2
授業概要			
学園祭や武蔵野フェス! の準備、実施 HRが含まれます。必ず出席して下さい。			
学習到達目標			
社会人基礎力を養う授業です。履修目的を理解して受講してください。			
学習上の助言			
組織で目標達成が時間内で出来るように、自発的に考え物事を進めて下さい。また、問題に直面した際は仲間や担当教員と相談をし、適切な対応ができるようにして下さい。			
教科書及び教材			
その都度、必要なものを支持します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1、2	武蔵野フェス!	イベント準備 打ち合わせ	
3、4	武蔵野フェス!	イベント準備作業	
5、6	武蔵野フェス!	イベント準備作業	
7、8	武蔵野フェス!	イベント実施	
9、10	学園祭	卒業記念コレクション 準備打ち合わせ	
11、12	学園祭	卒業記念コレクション 会場準備	
13、14	学園祭	卒業記念コレクション 進行準備・リハーサル	
15、16	学園祭	卒業記念コレクション 進行準備・リハーサル	
17、18	学園祭	卒業記念コレクション 審査会	
19、20	学園祭	卒業記念コレクション 当日	
成績評価の目安と方法			
出席状況と課題への取り組み姿勢、課題の成果を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力が十分身につく模範的行動が出来るレベルである。		
B	社会人基礎力が身につく行動出来るレベルである。		
C	社会人基礎力は身につくつつあるが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ネイルアート		岩崎 清美	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
ネイルアートを習得し、指先までのトータルファッションの提案・表現の構築			
学習到達目標			
ネイルアートを習得し、トータルファッションの提案・表現の習得			
学習上の助言			
技術を楽しく学び、自由な発想で個性を表現してください。			
教科書及び教材			
ポリッシュ、ファイル、リムーバー、エタノール、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	爪の名称	ファイリング	
2	ハンドマッサージ	キューティクルクリーン	
3	ネイルカラー	プリッシュ1色塗り	
4	ネイルカラー	アート、ジェム、フレンチ	
5	ネイルカラー	アート、ファン、ピーコック、マーブル、フラットアート(アクリル)	
6	チップデザイン画	チップデザイン画制作	
7	チップ制作	チップデザイン画制作	
8	チップ制作	オリジナルチップ制作	
成績評価の目安と方法			
授業態度、出席率、制作提出物			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションに合わせた発想豊かなネイルアートの提案ができる		
B	ファッションに合わせたネイルアートの提案ができる		
C	ファッションにあわせたネイルアートの理解ができた		
D	制作、提出物が無く、ネイルアートに対しての理解が部分的にできた		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング 1		松山 由未 ・ 窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	3
授業概要			
リサーチに基づいたイメージボード製作とシャツ・ブラウス製作。			
学習到達目標			
シャツ・ブラウス製作を通して、素材の扱いや製品仕様を理解する。 作品を使用し、スタイリング提案することで販売員、スタイリストに必要な知識・技術を身につける。			
学習上の助言			
シャツ・ブラウスの構造やアパレル縫製行程を理解してください。 また、トレンドを意識したスタイリング提案ができるよう、様々なメディアを活用し情報収集してください。			
教科書及び教材			
ファッションニュース、各種ファッション雑誌、授業内での配布資料、ソーイングセット、A4ファイル他授業内告知。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行、評価基準、ファッション業界の流れ	
2	アイテム研究	シャツ・ブラウスのディテール、素材について、ストリートスナップについて	
3	ストリートスナップ、イメージボード製作 1	イメージボード、テーマ、レイアウト、PowerPoint	
4	ストリートスナップ、イメージボード製作 2	S/Sアイテムの市場調査、シャツ・ブラウスの企画、スタイリング提案	
5	企画	製作条件、オリジナルデザイン	
6	ディテールメイキング 1	つけ衿	
7	ディテールメイキング 2	つけ衿	
8	パターン修正 1	有り型からデザインに合わせてのパターン修正	
9	パターン修正 2	有り型からデザインに合わせてのパターン修正	
10	マーキング	マーキング、裁断、芯貼り、印つけ	
11	縫製行程 1	アイロン1、ミシン1	
12	縫製行程 2	アイロン2、ミシン2	
13	縫製行程 3	アイロン3、ミシン3	
14	縫製行程 4	アイロン4、ミシン4	
15	縫製行程 5	仕上げ（裾始末）、プレス	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製品仕様を十分に理解し、知識・技術・スタイリングともに期待以上の向上が見られる。		
B	製品仕様を理解し、知識・技術・スタイリングともに向上が見られる。		
C	製品仕様の基礎知識・技術を習得している。		
D	製品仕様の基礎知識と技術の学習が必要である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング 2		松山 由未 ・ 窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	3
授業概要			
リサーチに基づいたイメージボード製作とパンツ製作。			
学習到達目標			
パンツ製作を通して、素材の扱いや製品仕様を理解する。 作品を使用し、スタイリング提案することで販売員、スタイリストに必要な知識・技術を身につける。			
学習上の助言			
パンツの構造やアパレル縫製行程を理解してください。 また、トレンドを意識したスタイリング提案ができるよう、様々なメディアを活用し情報収集してください。			
教科書及び教材			
ファッションニュース、各種ファッション雑誌、授業内での配布資料、ソーイングセット、A4ファイル他授業内告知。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アイテム研究	パンツのディテール、素材について	
2	イメージボード製作 1	イメージボード、テーマ、レイアウト、	
3	イメージボード製作 2	パンツの企画、スタイリング提案	
4	企画	製作条件、オリジナルデザイン	
5	パターン修正 1	有り型からデザインに合わせてのパターン修正	
6	パターン修正 2	有り型からデザインに合わせてのパターン修正	
7	マーキング	マーキング、裁断、芯貼り、印つけ	
8	縫製行程 1	アイロン1、ミシン1	
9	縫製行程 2	アイロン2、ミシン2	
10	縫製行程 3	アイロン3、ミシン3	
11	縫製行程 4	アイロン4、ミシン4	
12	縫製行程 5	仕上げ（裾始末、ボタンまたはホック付け）	
13	縫製行程 6	プレス	
14	ストリートスナップ	A/Wアイテムの市場調査	
15	ストリートスナップ	A/Wアイテムの市場調査	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製品仕様を十分に理解し、知識・技術・スタイリングともに期待以上の向上が見られる。		
B	製品仕様を理解し、知識・技術・スタイリングともに向上が見られる。		
C	製品仕様の基礎知識・技術を習得している。		
D	製品仕様の基礎知識と技術の学習が必要である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング 3		松山 由未 ・ 窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	3
授業概要			
リサーチに基づいたイメージボード製作とジャケット製作。			
学習到達目標			
ジャケット製作を通して、素材の扱いや製品仕様を理解する。 作品を使用し、スタイリング提案することで販売員、スタイリストに必要な知識・技術を身につける。			
学習上の助言			
ジャケットの構造やアパレル縫製行程を理解してください。 また、トレンドを意識したスタイリング提案ができるよう、様々なメディアを活用し情報収集してください。			
教科書及び教材			
ファッションニュース、各種ファッション雑誌、授業内での配布資料、ソーイングセット、A4ファイル他授業内告知。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アイテム研究	ジャケットのディテール、素材について	
2	イメージボード製作	ジャケットの企画、スタイリング提案	
3	企画	製作条件、オリジナルデザイン	
4	マーキング	マーキング、裁断、プレス機による芯貼り、切りじつけ	
5	縫製行程 1	アイロン1、ミシン1	
6	縫製行程 2	アイロン2、ミシン2	
7	縫製行程 3	アイロン3、ミシン3	
8	縫製行程 4	アイロン4、ミシン4	
9	縫製行程 5	アイロン5、ミシン5	
10	縫製行程 6	アイロン6、ミシン6	
11	縫製行程 7	アイロン7、ミシン7	
12	縫製行程 8	アイロン8、ミシン8	
13	縫製行程 9	アイロン9、ミシン9	
14	縫製行程 10	仕上げ（裾始末、ボタンホール）	
15	縫製行程 11	プレス	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製品仕様を十分に理解し、知識・技術・スタイリングともに期待以上の向上が見られる。		
B	製品仕様を理解し、知識・技術・スタイリングともに向上が見られる。		
C	製品仕様の基礎知識・技術を習得している。		
D	製品仕様の基礎知識と技術の学習が必要である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ビジネスコミュニケーション		彌島 康朗	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
<p>昨今の社会環境が激しく変化し「正解」が見えない社会では、取り組むべき課題を自ら設定し、常識にとらわれず新しい可能性を貪欲に追求する人材が求められている。</p> <p>授業ではシミュレーションゲーム教材を使ったグループワークでPDCAに取り組み、実社会で役立つビジネスコミュニケーションのスキルアップを図る。中でも情報活用スキルを駆使した企画の立案、プレゼン&質疑応答の修得に注力し自己実現を図る。</p>			
学習到達目標			
<p>ビジネスモデルを素材にシミュレーション&ディスカッション、プレゼンテーション&質疑応答に取り組み、自分資源を最大限活用できるスキルを修得する。特に思い付きを企画に組み立てるプロセスを身につける。</p>			
学習上の助言			
<p>実際の社会環境と重ねつつ、当事者意識を持って自身の資源開発に積極的に取り組む意欲を持って臨んで下さい。</p> <p>学内の有形無形の資産を自ら探し、積極的に有効活用する姿勢を持って臨んで下さい。</p>			
教科書及び教材			
<p>毎回講義使用教材を配布(ビジネスシミュレーションゲーム、ワークシート、自己チェックシート、ビジネス記事、企画シート、マイキャリアカード)</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス 消費者視点でBizシーンをリサーチ	留意すべき取り組み姿勢を伝え、これまでの体験を振り替えさせることで、当事者意識を高める	
2	消費者視点でBizシーンをリサーチ 自分資源開発	自分の体験や知識を社会に結び付けて、再編集し、ストーリー化することに取り組む	
3	実際の社会の中での 自分資源開発	社会のニーズを分析し、対応できるよう自分を企画しプレゼンすることに取り組む	
4	ビジネスモデル分析	見える情報を読解し、見えない情報を推察して視野を広げる	
5	採用目線でシミュレーション	視点転換し、相手目線に立って情報を分解し、読解することに取り組む	
6	ビジネスモデル分析	限られたリソースでより良いパフォーマンスを上げるための企画を検討する	
7	ビジネスモデル分析	自分資源を活用して、チーム独自のファッションビジネスモデルを作り、納得してもらうプレゼンを工夫する	
8	自分企画	自分独自のファッションビジネスを企画し、プレゼンする	
授業回数は180分で8回になります			
成績評価の目安と方法			
<p>出席日数・受講態度、各授業におけるワークシート・自己評価シート、期末におけるレポートを40:20:40の比重で配点し、総合評点が60点以上を合格とする。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	広い視野で情報収集し、独自の分析をし、相手の立場に立ってプレゼンできる		
B	見えない情報も推察して情報収集を行い、多角度な視点で分析、編集できる		
C	情報を収集し、意図をもって編集し、発信できる		
D	相手の質問意図を汲むことができず一方的な発信、受信になりがち		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス 1		吉井 たか子 ・ 奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
<p>ファッションビジネス検定 3 級合格を目指します。ファッションビジネスとは繊維製品に新しいデザインが表現するスタイルや、イメージなどの付加価値を付けて、生産・流通させ、市場で消費者の感性に訴え、共感を得てファッションを創り出し、成果を得る手段をいいます。授業を通しアパレル業界全体の仕組みを包括、基礎から理解します。</p>			
学習到達目標			
<p>3 級においては、「ファッションビジネス知識」と「ファッション造形知識」の 2 科目で構成されています。「ファッションビジネス知識」は全試験配点の 60% の得点を、「ファッション造形知識」は 70% の得点を目安に合格とします。</p>			
学習上の助言			
<p>アパレル業界で即戦力として幅広く活躍出来るように知識を身につけましょう。</p>			
教科書及び教材			
<p>ファッションビジネス能力検定試験 3 級準拠 ファッション辞典</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	デザインの定義と特性	衣服の流れ	
2	コーディネート基礎知識	ファッションスタイリング・ファッション企業のスタイリング	
3	ファッション商品知識	アパレル商品知識 【服種・アイテム】	
4	ファッション商品知識	シルエットの知識 デテールの知識	
5	ファッション商品知識	サイズの知識 繊維の知識	
6	ファッション・ビジネスの概要	ファッションビジネスの概要 繊維ファッション産業の流れ	
7	ファッション消費と消費者行動	ファッション消費と消費者行動 ライフスタイルとファッション お客様の購買行動	
8	アパレル産業と小売業	アパレル産業の概要 ファッション小売業の概要	
9	ファッション・マーケティング	マーケティングの基礎知識 マーケティング上の分類方法 市場調査の基礎知識	
10	ファッション・マーチャンダイジング	マーチャンダイジング基礎知識 商品企画・生産・販売の流れ 売場商品構成の基礎知識	
11	ファッション流通	流通 ファッション小売企業の仕組みと業務	
12	ビジネス基礎知識	会社に関する基礎知識 企業の組織 企業会計 係数知識	
13	模擬試験	模擬試験実地	
14	模擬試験 解答・解説	模擬試験を通じ出題傾向と対策を考えます。	
15	CSの重要性	お客様に満足して頂ける販売。顧客満足度について学びます。	
成績評価の目安と方法			
<p>知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、ファッションビジネス能力検定3級試験結果を総合的に評価</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス、造形とも 3 級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス、造形とも 3 級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス、造形とも 3 級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションスタイリスト検定		岩崎 清美	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
Styling Map ファッションスタイリスト ジュニア検定に則り、人を理論的に分析・分類し、情報を可視化し表現する			
学習到達目標			
いろいろな人に合った客観的で明確なスタイリング提案ができる			
学習上の助言			
自らも分析し、楽しんで質問も沢山してください。			
教科書及び教材			
F.S.A Styling Map ファッションスタイリスト ジュニア検定テキスト			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	Styling Mapとは	S-Mapの概要、検定目的・目標	
2	色の基礎知識	パーソナルカラーの概要	
3	カラー分析・分類の基礎	パーソナルカラーの分析・分類	
4	人の色の分析	S-Mapの人の色分析	
5	形の分析	アイテム、物の形の分析	
6	人の形の分析	S-Mapの人の形の分析	
7	素材（質感）分析・分類	アイテム、物の素材（質感）の分析	
8	人の質感の分析	S-Mapの人の質感の分析	
9	トータル分析①	S-Mapの人のトータル分析	
10	トータル分析②	S-Mapの人のトータル分析	
11	復習テスト	検定対策復習テスト	
12	検定テスト	検定テスト	
成績評価の目安と方法			
授業態度、提出物、出席率、テスト結果			
評価	成績評価別の到達度		
A	スタイリングMap検定に合格し、人に合わせたスタイリングの提案・アドバイスが適格にできる		
B	スタイリングMap検定に合格し、人に合わせたスタイリングの提案・アドバイスができる		
C	スタイリングMap検定に合格し、内容の理解ができる		
D	スタイリングMapの内容を部分的に理解できる		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画 1		大谷 順	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
<p>アパレルにおけるデザイン画の重要性を理解し、実際の現場で十分活用できるよう、デザイン画の基礎を学習する。</p>			
学習到達目標			
<p>デザイン画の基本プロポーション、8頭身の人体が描けるようになる。 基本的なアイテムを着せたデザイン画が描けるようになる。</p>			
学習上の助言			
<p>自分の描きたいデザインを、見る人に伝わりやすい、わかりやすいデザイン画で表現できるようになりましょう。その為にはたくさん描く事。たくさん質問もしてください。</p>			
教科書及び教材			
<p>教科書、筆記用具、方眼定規、クロッキー帳、デザインパッド、ピグマペン、コピック、色鉛筆等その他画材</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス 8頭身直立ヌードを描く	クロッキーをして絵を描く事に慣れる。 教科書を見ながら基本的な8頭身ヌードを描く。	
2	ポーズヌードを描く	教科書の写真のポーズヌードを8頭身ヌードに描く。	
3	手、脚、顔を描く 平面図 1	手、脚、顔を描く練習をする。 平面図を理解し、スカートの平面図を描く。	
4	ポーズヌードの復習 スカートの基本	教科書のヌードの復習 スカートの基本的な描き方を練習する。	
5	基本画材の説明 コピックの練習	基本的な画材を理解し練習する。 スカートのデザイン画を使って彩色練習する。	
6	シャツ・ブラウスの基本	シャツ・ブラウスの概論。 基本的なシャツ・ブラウスを描き、ペン入れ、着色をする。	
7	パンツの基本 1	パンツの概論。 基本的なパンツを新しいヌードポーズに着せて描き、着色する。	
8	パンツの基本 2	ジーパンを新しいヌードポーズに着せて描き、着色する。	
9	平面図 2	平面図の使われ方と描き方理解する。 これまで描いてきたアイテムを平面図に描く練習をする。	
10	ワンピースの基本 1	ワンピースの概論。 基本的なワンピースを描き着色する。	
成績評価の目安と方法			
<p>プロポーションとアイテムの基本的な知識と、描画の技術習得を評価の対象とします。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を深く理解し、オリジナリティーのあるデザインを描いた。		
B	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解し、服の構造を理解したデザインを描いた。		
C	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解した。		
D	未提出物の課題がある。各アイテムの描き方の理解度が低い。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画 2		大谷 順	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
<p>アパレルにおけるデザイン画の重要性を理解し、実際の現場で十分活用できるよう、デザイン画の基礎を学習する。</p> <p>デザインに必要なオリジナリティーを育てる。</p>			
学習到達目標			
<p>基本的なアイテムの着色デザイン画が描けるようになる。</p> <p>自分で発想したオリジナルデザインが見る人にわかりやすく描けるようになる。</p>			
学習上の助言			
<p>身につけた基本プロポーションを使って、自分の描きたいデザインが着色画で自由に表現できるようになりましょう。その為にはたくさん描く事。たくさん質問もしてください。</p>			
教科書及び教材			
教科書、筆記用具、方眼定規、クロッキー帳、デザインパッド、ピグマペン、コピック、色鉛筆等その他画材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ワンピースの基本 2	パステルの使い方の基本。ワンピースのオリジナルデザインを描く。	
2	ジャケットの基本 1 斜めヌードの描き方	ノッチドラベルジャケットの描く。動きのあるヌードにジャケットを着せて描く。	
3	ジャケットの基本 2 柄素材の描き方	ピークドラベルジャケットの描く。教科書を参考に柄素材を練習する。	
4	コートの基本 1	ピーコートとAラインコートを描く。	
5	コートの基本 2	トレンチコートを描く。デザイン画に陰影をつけて立体感をだす練習。	
6	素材感の練習 写真をデザイン画にする	4つの素材感を描く練習。4つの素材感のファッション写真から選んでデザイン画にする。	
7	素材からの発想 自由にヌードを描く	4つの素材感から2つを選びオリジナルのデザインを描く。自由にデフォルメしたヌードを練習する。	
8	ディテールからの発想	ディテールの写真資料を使用してオリジナルデザインを描く。	
9	美術からの発想	自分で集めた美術資料を使ってオリジナルデザインを描く。	
10	資料からの発想	自分で集めた資料を使ってオリジナルデザインを描く。オリジナルデザインを元にバリエーションをデザインする。	
成績評価の目安と方法			
アイテムの基本的な知識と、描き方の技術習得及び、オリジナリティーのあるデザインを評価の対象とします。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を深く理解し、オリジナリティーのあるデザインを描いた。		
B	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解し、服の構造を理解したデザインを描いた。		
C	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解した。		
D	未提出物の課題がある。各アイテムの描き方の理解度が低い。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマテリアル 1		吉井 たか子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
服飾のマテリアル（素材）を総合的に学びます。			
学習到達目標			
繊維・糸・織組織・編地等基本の構造、染色・加工・織柄・プリントの種類、基本の服地の特徴（テクスチャー）を身につける			
学習上の助言			
理論だけでなく、素材のテクスチャーの感触を実感し、それを表現できる言葉も学びましょう			
教科書及び教材			
服地のわかる事典・ファッションビジネス [1] ・授業時配布資料・生地サンプル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アパレルと素材	アパレル素材とは	
2	繊維	繊維の分類について	
3	//	天然繊維と化学繊維	
4	糸	糸の種類	
5	織物服地	織物の構造・組織	
6	//	//	
7	//	主要織物の名称と風合い・材質感	
8	//	//	
9	編地	編地の分類と名称	
10	染色・仕上げ・加工	染色の工程・種類	
11	//	仕上げ・加工の種類	
12	織柄・プリント	織柄の名称	
13	//	プリント柄の名称	
14	筆記試験		
15	まとめ		
成績評価の目安と方法			
服地の基礎知識（名称・分類等）の理解度・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	服地の基礎知識を良く理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる		
B	服地の基礎知識を理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる		
C	服地の基礎知識を理解している		
D	服地の基礎知識の理解が不足している		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術		松山 由未 ・ 窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
スカート製作を通して、アパレルの現場に必要な基礎用語、基本技術を習得する。			
学習到達目標			
洋裁用具、素材、副資材の基礎知識と基本縫製技術の習得。			
学習上の助言			
実習を行う中で、洋裁用具の扱い方や服飾専門用語も学習していきます。 まずはミシンに慣れることを積極的に取り組んでください。			
教科書及び教材			
縫製技術マニュアル、授業内でレジュメ配布、ソーイングセット、A4ファイル他授業内告知。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行、評価基準、生地と地の目について	
2	用具と副資材 1	製図用具、洋裁用具、服飾副資材について	
3	用具と副資材 2	アイロン、職業用ミシン、ロックミシンについて	
4	スカート製作 1	工業用パターン作成と地直し	
5	スカート製作 2	マーキング、裁断	
6	スカート製作 3	本縫い1	
7	スカート製作 4	本縫い2	
8	スカート製作 5	本縫い3	
9	スカート製作 6	本縫い4	
10	スカート製作 7	仕上げ	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	縫製行程をよく理解し積極的に取り組み、非常に高い技術で課題を完成させた。		
B	縫製行程を理解し積極的に取り組み、高い技術で課題を完成させた。		
C	縫製行程を理解し取り組み、課題を完成させた。		
D	縫製行程を理解しておらず、課題も未完成。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング1		松山 由未・窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
パターンメイキングの基礎知識。スタイリング1.2.3に連動したパターンメイキング。			
学習到達目標			
採寸方法と採寸部位名称、サイジングの理解。 パターンメイキングの基礎知識と基本技術の理解と習得。パーツ名称、形状の理解。			
学習上の助言			
洋服の基本的な構造や各パーツの形状を学習してください。 実習を行う中で、製図用具の扱い方やパターンの専門用語も習得していきます。			
教科書及び教材			
授業内でレジュメ配布、ソーイングセット、A4ファイル他授業内で告知。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	人体とパターン	基本部位名称、人体と人台の関係性、パターンメイキングの手法	
2	サイジングと採寸法	JIS規格サイズ、ワールドサイズ、採寸実習	
3	スカート原型	原寸大タイトスカートの製図	
4	スカート原型	スカートのシルエットと展開パターン	
5	身頃原型	身頃のダーツ展開	
6	身頃原型	衿について、袖について	
7	身頃原型	スタイリング3 ジャケットのパターン修正	
8	身頃原型	スタイリング3 ジャケットのパターン修正	
9	身頃原型	スタイリング3 ジャケットのパターン修正	
10	身頃原型	スタイリング3 ジャケットのパターン修正	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	サイズ理論及びパターンの作成行程をよく理解し積極的に取り組み、非常に高い技術で課題を完成させた。		
B	サイズ理論及びパターン作成行程を理解し積極的に取り組み、高い技術で課題を完成させた。		
C	サイズ理論及びパターン作成行程を理解し取り組み、課題を完成させた。		
D	授業に対する姿勢が消極的で、課題も未完成。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス 1		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
Macintoshの基本操作をはじめ、Adobe PhotoshopやAdobe illustratorの基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。			
学習到達目標			
Macintoshを使用して、Adobe PhotoshopやAdobe illustratorをメインに、イメージを表現する為のツールとして各種ソフトの特徴を理解して使用ができるようになることを目的とします。			
学習上の助言			
コンピュータ知識、技術を習得し仕事を進める上での効率性アップなどにつながるように基礎から身につけましょう。			
教科書及び教材			
解説プリント及び見本、トレーニングファイル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	PCルーム、システム、各種ソフトの使用方法和注意事項	
2	Adobe illustrator	用紙設定、各種ツール説明、写真の配置と文字の重ね方をはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、フォトショップとの互換性を副教材を使用し習得する。	
3	Adobe Photoshop	用紙設定、各種ツール説明、レイヤー、フィルターをはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、イラストレーターとの互換性を副教材を使用し習得する。	
4	Tシャツデザインコンテスト 1	作品テーマ、エントリー規定説明、複合機の使用方法和、デザイン実習	
5	Tシャツデザインコンテスト 2	デザイン実習	
6	Tシャツデザインコンテスト 3	デザイン実習	
7	Tシャツプリント 1	インクジェットプリンター実習	
8	Tシャツプリント 2	インクジェットプリンター実習	
9	Tシャツプリント 3	インクジェットプリンター実習	
10	Tシャツプリント 4	作品の仕上げ、完成データ提出	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe Photoshopの基本的機能を理解、作品に反映されている		
B	Adobe Photoshopの基本的機能をおおむね理解、作品に反映されている		
C	Adobe Photoshopの基本的機能を最低限理解している		
D	特定の技術習得ができていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
incubate collection		茂垣 晴菜・窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
ファッションショー『incubate collection』の準備、実施の授業です。			
学習到達目標			
ひとつの目標に向け、組織として行動をします。責任感、行動力、協調性などの社会人基礎力を養い、現場で役立つ人材を目指します。			
学習上の助言			
各ポジションのスタッフは希望者を募り、担当教員による協議のもと決定をしますが、学校での生活や授業態度等を見て、担当教員からの推薦で決定する場合があります。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	スタッフごとに集まり、授業目的や行動上の注意等説明します。	
2	学内リハーサル	当日滞りない運営が出来る様、業務の流れを確認します。	
3	リハーサルチェック	各ポジションごとに校長先生によるチェックがあります。	
4	搬入準備	会場に搬入する備品の準備をします。	
5	設営	当日の会場内や受付の設営をします。	
6	準備	受付、誘導、ショースタートまでの流れを確認します。	
7	ショー	1st ショー	
8	ショー	2nd ショー	
9	撤収作業	学校へ持ち帰る備品を撤収します。	
10	振り返り	行ったことの振り返りをし、次年度につなげます。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、組織の一員としてしかるべき行動がとれるかなどをふまえて総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰ぐことが出来、組織の一員としての行動が出来る。また、臨機応変な対応が出来る。		
B	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰げるなど、組織の一員としての行動がおおむね出来る。		
C	社会人基礎力を備え、組織の一員としての行動が最低限出来る。		
D	組織の一員としての自覚が欠如している場合や、相応しくない行動がみられた場合。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション 1		小倉 展伸 ・ 担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
スタイリングで製作された企画や製作した作品のプレゼンテーションをおこないます。			
学習到達目標			
説明する内容のスムーズな組み立て、声の大きさ、自分自身の立ち振る舞い、全てに神経を使いベストな状態で伝える意識と行動を身につけて下さい。			
学習上の助言			
ファッションは他者からの共感が大切です。そのためにはそれを伝える事が大変重要です。恐れずチャレンジして下さい。			
教科書及び教材			
その都度指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼンテーション見学	上級生のプレゼンテーション見学	
2	プレゼンテーション見学	アパレルプロフェッショナル科 1 年生のプレゼンテーション見学	
3	プレゼンテーション準備	話の組み立てやツールの使い方の準備	
4	プレゼンテーション準備	クラス内でのプレゼンテーション練習	
5	プレゼンテーション 1	スタイリング 1	プレゼン 実施～評価
6	プレゼンテーション 2	スタイリング 1	プレゼン 実施～評価
7	プレゼンテーション 3	スタイリング 2	プレゼン 実施～評価
8	プレゼンテーション 4	スタイリング 2	プレゼン 実施～評価
9	プレゼンテーション 5	スタイリング 2	プレゼン 実施～評価
10	プレゼンテーション 6	スタイリング 3	プレゼン 実施～評価
成績評価の目安と方法			
プレゼンテーション実施前に提示する評価基準にそって教員が評価します。望む姿勢、声の大きさ、ツールの使い方、聞きやすさ、等が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
マーケットリサーチ 1		松山 由未・窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
市場調査や美術館見学まで幅広く行う校外学習の授業です。事前情報をもとに趣旨に沿ったリサーチを行います。展覧会開催スケジュールに伴い、順番と内容は変更する場合があります。			
学習到達目標			
リアルタイムの市場動向や美術鑑賞を通して、感覚を養います。 情報を収集し、分析を行い、感じたことを文章表現する力を習得してください。			
学習上の助言			
事前準備として、基本情報を検索しておき、充実したリサーチとレポート製作を行いましょう。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具、必要に応じて、資料、プリントを配布			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	市場調査 1	市場調査の方法オリエンテーション、市場動向調査と分析 1	
2	企画展鑑賞 1	開催中の企画展見学 1	
3	西洋アート鑑賞 1	国立西洋美術館常設展プログラム	
4	素材リサーチ 1	服飾素材店リサーチ、製品規格について、アイテムと素材 1	
5	現代アート鑑賞	開催中の現代アート企画展見学	
6	市場調査 2	市場動向調査と分析 2	
7	西洋アート鑑賞 2	開催中の西洋アート企画展見学	
8	日本美術鑑賞	国立博物館常設展プログラム	
9	素材リサーチ 2	アイテムと素材 2	
10	企画展鑑賞 2	開催中の企画展見学 2	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が出欠確認となります。提出期限を厳守し、適切な内容をレポートにまとめて下さい。レポートの提出状況と内容を総合的に判断し評価とします。1 / 3 以上の欠席は評価Dとします。			
評価	成績評価別の到達度		
A	リサーチの趣旨を適切に理解し、レポートに反映できている。期限内の提出。		
B	リサーチの趣旨を理解し、レポートに反映できている。期限内の提出。		
C	リサーチしたことをレポートにまとめて、提出。		
D	レポートの未提出。出席状況が 2 / 3 以下。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションセミナー1		小倉 展伸・担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。			
学習到達目標			
ファッションデザインをする際、トレンド（ファッションの傾向）はいつも意識しなくてはいけないものです。この時間はそのトレンドをつかむことを目的に実施する授業です。また、業界の著名人等の講演もあり、ファッションについてどのような考えを持っているか参考にして下さい。			
学習上の助言			
トレンドセミナーではわからない用語が出てくると思います。意味は必ず自分で調べるようにして下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
2	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
3	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
4	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
5	衣装セミナー	ミュージカル事前指導 見所の解説 『劇団四季 美女と野獣』	
6	衣装セミナー	ミュージカル見学～衣装セミナー 『劇団四季 美女と野獣』	
7	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
8	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
9	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
10	ファッショントーク・ライブ	特別講義 業界著名人による講演	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が出欠確認となります。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況と内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出できています。		
C	レポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	レポートにまとめるが、未提出がある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース 1		松山 由未・窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 1 年	2
授業概要			
学内イベントに於ける、企画、運営、実施。進行状況に伴い、順番と内容は変更する場合があります。			
学習到達目標			
グループワークの中でコミュニケーション力、社会人基礎力を養います。			
学習上の助言			
履修目的を理解し、自発的に行動できるよう心がけて受講して下さい。			
教科書及び教材			
内容により適宜、指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1、2	オリエンテーション	イベント概要、授業進行	
3、4	オリエンテーション	学習基礎 1	
5、6	オリエンテーション	学習基礎 2	
7、8	ハロウィンパーティー 1	イベント企画、準備	
9、10	ハロウィンパーティー 2	イベント運営、実施、撤収	
11、12	学園祭 1	イベント企画、準備	
13、14	学園祭 2	イベント準備、運営	
15、16	学園祭 3	イベント準備、運営	
17、18	学園祭 4	イベント準備、運営	
19、20	学園祭 5	イベント運営、実施	
成績評価の目安と方法			
取り組み姿勢と内容を総合的に判断し評価とします。1 / 3 以上の欠席は評価Dとします。			
評価	成績評価別の到達度		
A	グループワークでの役割を十分に理解し、模範的な行動が出来る。社会人基礎力が身についている。		
B	グループワークでの役割を理解し、自発的に行動が出来る。社会人基礎力が身についている。		
C	グループワークの参加ができる。社会人基礎力が身に付きつつあるが、不十分な点もある。		
D	社会人基礎力の習得が未熟で発展途上である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションコーディネート 1		岩崎清美 ・ 本間昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
スタイリングとヘアメイクの相乗効果を考えるファッションコーディネート			
学習到達目標			
コーディネート：ファッションの分析と表現方法を知る ヘアメイク：目的にあったスタイルの構想			
学習上の助言			
コーディネート：ファッションは楽しくをモットーに、質問は沢山して下さい。 ヘアメイク：イメージネーションへの導き			
教科書及び教材			
スタイリング：ファッション誌 ヘアメイク：FASHION COLOR 日本色研事業			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	コーディネート概論	トータルコーディネート概論	
2	ヘアメイク概論	トータルコーディネートにおけるヘアメイクの概論	
3	コーディネート	TPO 冠婚葬祭	
4	ヘアメイク	ショーとヘアのヘアメイク コラージュ作成	
5	コーディネート	イメージ分析	
6	ヘアメイク	ミディアムヘアのヘアメイク コラージュ作成	
7	コーディネート	系統分析 1	
8	ヘアメイク	ロングヘアのヘアメイク コラージュ作成	
9	コーディネート	系統分析 2	
10	ヘアメイク	系統別キーワードのヘアメイク コラージュ作成	
11	コーディネート	イメージ&系統分析	
12	ヘアメイク	イメージ別キーワードのヘアメイク コラージュ作成	
13	コーディネート	トータルコーディネート プレゼンテーション	
14	ヘアメイク	冠婚葬祭のヘアメイク コラージュ作成	
成績評価の目安と方法			
コーディネート：授業態度、制作物に取り組む姿勢、トータルファッションの習得 ヘアメイク：課題によるヘアメイクのイメージ力とその知識の習得 30点 受講姿勢 5点			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、課題の仕上がり状態が優良かつ良、それぞれのファッション、ヘアメイクイメージを習得できた。		
B	60%以上出席、課題の仕上がり状態が良、それぞれのファッション、ヘアメイクイメージを習得できた。		
C	60%以上出席、課題の仕上がり状態 可、それぞれのファッション、ヘアメイクイメージを習得できた。		
D	60%未満出席、課題の仕上がり状態 可または未提出、ファッション、ヘアメイクイメージの不習得		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイク 1		本間 昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科 1 年生	1
授業概要			
ヘアスタイリングとメイクアップの基礎的概論及び基礎的技術実習			
学習到達目標			
皮膚、毛髪の基礎知識を通してベーシックヘアメイク技術習得			
学習上の助言			
ヘアメイク実習を通し、手順をしっかりと習得することが美しく仕上げる基本になります。分からない点はその時点で質問し確実に習得しましょう。			
教科書及び教材			
支給品：デンマンブラシ、テールコーム、ダッカールピン、メイク用筆類、パフ、化粧水、乳液、エタノール、綿棒、コットン 共同使用品（学内物品）：ヘア用品一式、メイク用品一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	毛髪・皮膚概論ヘアメイク基礎	毛髪・皮膚基礎知識、ヘアメイク道具、基本テクニック実習 クレンジング、マッサージ	
2	ヘアメイク実習	ベーシックメイク ベース（基本的配色・補色）、 アイブロー	
3	ヘアメイク実習	ベーシックメイク アイ、チーク、リップ	
4	ヘアメイク実習	テーマ別	ヘア&メイクアップ 春 コラージュ、実習
5	ヘアメイク実習	テーマ別	ヘア&メイクアップ 夏 コラージュ、実習
6	ヘアメイク実習	テーマ別	ヘア&メイクアップ 秋 コラージュ、実習
7	ヘアメイク実習	テーマ別	ヘア&メイクアップ 冬 コラージュ、実習
8	ヘアメイク実習	テーマ別	ヘア&メイクアップ 朝 コラージュ、実習
9	ヘアメイク実習	テーマ別	ヘア&メイクアップ 昼 コラージュ、実習
10	ヘアメイク実習	テーマ別	ヘア&メイクアップ 夜 コラージュ、実習
成績評価の目安と方法			
知識、技術、受講姿勢を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	実習 80%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクを習得できた。		
B	実習 60%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクを大まかに習得できた。		
C	実習 60%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクを部分的習得できた。		
D	実習 60%未満出席、ヘアスタイリング及びメイクが不習得である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストトレーニング1		岩崎清美	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科1年生	1
授業概要			
スタイリスト及びアシスタントの即戦力となる、概念・実技を学ぶ			
学習到達目標			
スタイルストの知識と技術の習得			
学習上の助言			
どんどん質問し、現場での即戦力となる知識と技術を学んで欲しい			
教科書及び教材			
スタイリストの七つ道具、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	スタイリストの仕事	スタイリストの仕事の種類と将来	
2	コーディネート論	スタイリストのコーディネート概論、サイズの測り方	
3	コーディネートテクニック	小物のアレンジ	
4	パンツの裾上げ	スタイリストのパンツの裾上げ	
5	アイロン	スタイリストのアイロンのかけ方	
6	靴の底張り	撮影の靴の底張り	
7	七つ道具	七つ道具、タグ管理	
8	コーディネートテクニック	コーディネートテクニック、体型別編	
9	ショップリサーチ	ショップリサーチプレゼン	
10	コーディネートテクニック	コーディネートテクニック、テーマ編	
11	コーディネートテクニック	コーディネートテクニック、プレゼンテーション	
12	業界用語	ファッション用語、業界用語	
成績評価の目安と方法			
授業態度、出席率、プレゼンテーション			
評価	成績評価別の到達度		
A	スタイリストとしての知識・技術を習得し、オリジナルスタイリング提案ができる		
B	スタイリストとしての知識・技術を習得し、スタイリング提案ができる		
C	スタイリストとしての知識・技術を理解できる		
D	スタイリストとしての知識・技術を部分的に習得し、理解する事ができた		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス2		吉井 たか子 ・ 奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
<p>ファッションビジネス検定2級合格を目指します。</p> <p>また、進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。</p>			
学習到達目標			
<p>2級においては、「ファッションビジネス知識」と「ファッション造形知識」の2科目で構成されています。「ファッションビジネス知識」は全試験配点の60%の得点を、「ファッション造形知識」は70%の得点を目安に到達目標とします。</p>			
学習上の助言			
<p>アパレル業界で即戦力として幅広く活躍出来るように知識を身につけましょう。</p>			
教科書及び教材			
<p>ファッションビジネス能力検定試験2級準拠 ファッション辞典 服地がわかる事典</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション文化・デザイン文化	服装史の基礎知識	
2	ファッション・コーディネート	アパレル企業のスタイリング計画	
3	ファッション商品知識	アパレル商品部門 服種・アイテムの知識	
4	ファッション商品知識	シルエット・ディテール 服飾雑貨の商品知識	
5	ファッション商品知識	素材の商品知識 副資材の知識	
6	ファッション・ビジネスの特性	ファッションビジネスの事業特性 変遷 環境変化 近年動向 模擬問題 解答解説	
7	ファッション生活・消費1	ファッション消費行動を形成する要素	
8	ファッション生活・消費2	ファッション消費の変遷と現在 模擬問題 解答解説	
9	ファッション産業構造	グローバルな視点でとらえたアパレル産業 模擬問題 解答解説	
10	ファッションマーケティング1	ファッション消費行動を形成する要素	
11	ファッションマーケティング2	ファッション消費の変遷と現在 模擬問題 解答解説	
12	ファッションマーチャンダイジング1	アパレルマーチャンダイジングとリテールマーチャンダイジング	
13	ファッションマーチャンダイジング2	ファッション情報の収集・分析 価格と原価 模擬問題 解答解説	
14	模擬試験	ファッション・ビジネスの特性～マーチャンダイジングまでの模擬試験	
15	模擬試験 解答・解説	解答と解説	
成績評価の目安と方法			
<p>知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス (MDまで)、造形 (素材、副資材まで) とも2級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス (MDまで)、造形 (素材、副資材まで) とも2級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス (MDまで)、造形 (素材、副資材まで) とも2級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ショップマネジメント 1		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
<p>期間限定ショップの準備から実施まで行う授業です。前年度の振り返りから課題を見つけ、今年度の自分たちの目標を設定し、それに向けての施策を計画し、実行していきます。</p>			
学習到達目標			
<p>組織として目標達成のために自分自身に何ができるかを考え、行動する力を身につけます。</p>			
学習上の助言			
<p>行事ではなくPDCAの実践の授業です。問題に直面することが多くありますが、考え行動し、物事を前に進めていく力を身につけてください。1年時は2年生のサポート業務が多くなりますが、次年度に向けて経験を積んでください。</p>			
教科書及び教材			
<p>設定した目的達成のために、学内備品または各自が使えるものすべてを有効に使ってください。</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	期間限定ショップ 目標設定	昨年度の振り返りと今年度の目標を設定します。	
2	目標達成への施策検討	設定した目標の実現に向けて具体的な施策案をまとめます。	
3	目標達成への施策決定会議	設定した目標の実現に向けて具体的な施策を計画します。	
4	運営チーム結成	2年生と合同で運営チームを作り、売上を競います。	
5	オープン準備	各担当に分けて、オープンに向けての準備をします。	
6	販売活動 1	チームごとに担当営業日を運営します。	
7	検証会議	オープン後、数日経過したところに出てきた問題や成果を検証し、修正していく会議です。	
8	店頭販売 2	検証会議の修正を踏まえて販売活動を行います。	
9	撤収作業	商品、備品類の撤収準備から撤収作業まで行います。	
10	反省会	実施結果の検証をします。	
成績評価の目安と方法			
<p>授業内で説明するルーブリックに沿って評価します。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力と販売能力が十分身につき模範的行動が出来るレベルである。		
B	社会人基礎力と販売能力が身につき行動出来るレベルである。		
C	社会人基礎力と販売能力は身につつつあるが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力と販売能力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションリテール		株式会社レイ・カズン	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
企業の販売員養成のカリキュラムを行います。授業後半では接客のロールプレイングを行い、知識だけでなく実践し接客方法の習得まで行います。			
学習到達目標			
接客に関する基礎知識を身につけ、ロールプレイングで実践できるレベルを目指します。【また会いたい販売員になる】ことが目標です。			
学習上の助言			
企業と学校が連携で行う販売員養成のための授業です。社会に出て直接的に役立つ授業となっています。モチベーションを高めて望んでください。			
教科書及び教材			
各授業ごとにレジュメを配布します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	自己紹介	自己紹介 基本的な接客方法の説明	
2	笑顔の作り方	挨拶練習～笑顔の作り方	
3	商品知識について	商品知識について セールストーク	
4	お客様心理	来店客の心理状態と行動の移り変わり」について ロープレ体験	
5	振り返り	ここまでの振り返り わからないことの確認～購買心理	
6	お客様心理	「来店客の心理状態と行動の移り変わり」～ロープレ体験	
7	「商品のポイントを伝える練習」	また会いたい販売員になる「自分のキャラ設定をしてみよう！」～ロープレ体験	
8	ロールプレイング練習	ロープレの前に・・・「自分のキャラ設定をしてみよう！」2	
9	ロールプレイング大会	個人ごとにロープレを体験	
10	ロールプレイング大会	個人ごとにロープレを体験～授業のまとめ	
成績評価の目安と方法			
笑顔、挨拶、ロールプレイングで学んできたことが生かされているか。販売トレーナーからの視点で評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	笑顔を絶やさず、設定したキャラクターでお客様の心理を考えながらロールプレイングを行えた。		
B	笑顔を絶やさず、設定したキャラクターでロールプレイングを行えた。		
C	ロールプレイングに参加した。		
D	ロールプレイングに参加していない。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス 1		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	アパレルプロフェッショナル科 1 年 ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
就職を希望する学生が就職活動についての知識とスキルを身につけることを目的とする。			
学習到達目標			
業界や職種、就職活動についての方法を理解することを目指す。			
学習上の助言			
授業内では毎回課題を出します。遅刻をしない様に出席してください。 企業の方に来校いただく関係で授業内容が多少前後する可能性があります。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業の概要を理解する	
2	就職についての理解	働くことの意義・重要性について考える	
3	就職についての理解	求められる資質、社会人基礎力について考える	
4	業界、職種理解	アパレル業界や職種について	
5	企業説明	実際に企業の人事を呼びアパレル業界、企業理解を深める	
6	企業説明	実際に企業の人事を呼びアパレル業界、企業理解を深める	
7	企業説明	実際に企業の人事を呼びアパレル業界、企業理解を深める	
8	企業説明	実際に企業の人事を呼びアパレル業界、企業理解を深める	
9	内定者報告会	企業に内定している先輩から就職活動の体験談を聞く	
10	企業分析	志望動機作成	
11	企業分析	志望動機作成	
12	自己分析	自己PR作成	
13	自己分析	自己PR作成	
14	履歴書	履歴書の書き方、封筒の書き方、送付状について	
15	履歴書	履歴書の書き方、封筒の書き方、送付状について	
成績評価の目安と方法			
各回で実施する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う		授業実施回数 2 / 3 以上の出席を要する	
評価	成績評価別の到達度		
A	就職活動についての基礎知識を十分に理解した		
B	就職活動についての基礎知識を良く理解した		
C	就職活動についての基礎知識を理解した		
D	単位認定不可		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス2		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
必修科目コンピューターグラフィックス1で学んだ基本操作の復習と、主にシルクスクリーン手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。			
学習到達目標			
必修科目コンピューターグラフィックス1で学んだ知識、技術を更に深め、より完成度の高いデータ（主にAdobe illustrator）と作品を仕上げられるようになることを目的とします。			
学習上の助言			
プロの現場でも活用出来るAdobe illustratorの基礎を理解し将来に役立てましょう。			
教科書及び教材			
作品見本illustratorファイル、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ソフトの互換性について	Adobe illustrator、Photoshopの基本操作復習	
2	Adobe illustrato技術習得1	デザイン実習1とテスト、シルクスクリーンプリントの構造説明	
3	Adobe illustrato技術習得2	デザイン実習2とテスト、デザイン相談	
4	CGデザイン実習	デザイン実習3とテスト	
5	CGデザイン実習	デザイン実習4	
6	CGデザイン実習	デザイン実習5	
7	シルクスクリーン製作	シルクスクリーン版の製作	
8	シルクスクリーンプリント	インク配合とプリント実習	
9	シルクスクリーンプリント	作品の仕上げ、完成データ提出	
10	テスト	Adobe illustrator作品製作テスト	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解、作品に反映されている		
B	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解をおおむね理解、作品に反映されている		
C	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能を最低限理解、作品に反映されている		
D	特定の技術習得ができていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
販売士検定 2 級対策講座		エストール	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
<p>①テキスト本位の単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。誰もが知っている具体的な有名企業の事例として説明することで、より分かりやすく、より興味を持たせる授業を実施。</p> <p>②試験直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施。</p>			
学習到達目標			
販売士検定 2 級の合格			
学習上の助言			
平均点 70 点以上が合格です。			
教科書及び教材			
講義用教材として出題率 80% 以上と規定されている「販売士 2 級ハンドブックセット（日本商工会議所編集）」を使用。 その他の配布用教材 ①講義毎レジュメ ②重要キーワードチェックリスト③出題予想模擬試験問題、及び解答解説集			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	小売業の種類	・流通と小売業の役割 ・流通経路政策	
2	小売業の種類	・組織形態別小売業の運営特性 ・店舗形態別小売業の運営特性	
3	小売業の種類	・チェーンストアの目的と運営 ・商業集積の運営特性	
4	マーチャンダイジング	・仕入計画の立案と運用システム ・戦略的商品計画の立案	
5	マーチャンダイジング	・価格設定の方法 ・商品管理の実際	
6	マーチャンダイジング	・販売計画の立案と管理 ・小売業の物流システム	
7	ストアオペレーション	・店舗運営サイクルの実践と管理 ・戦略的購買促進の実施方法	
8	ストアオペレーション	・戦略的ディスプレイの実施方法 ・レイバースケジュールプログラムの役割としくみ	
9	マーケティング	・小売業のマーケティングミックス ・マイクロマーケティングの展開方法	
10	マーケティング	・マーケティング戦略の方法・マーケティングリサーチの実施方法・商圏分析の立案と実施方法	
11	マーケティング	・出店戦略の立案と実施方法 ・販売促進策の企画と実践	
12	直前対策	・模擬試験問題の解答解説（小売業の種類）	
13	直前対策	・模擬試験問題の解答解説（マーチャンダイジング/ストアオペレーション）	
14	直前対策	・模擬試験の解答解説（マーケティング）	
15	直前対策	・模擬試験の解答解説	
成績評価の目安と方法			
出席評価、受講状況と検定試験平均点の合計点で評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	販売士 2 級検定試験 平均点 70 点以上取得		
B	販売士 2 級検定試験 平均点 60 点以上取得		
C	販売士 2 級検定試験 平均点 50 点以上取得		
D	販売士 2 級検定試験 平均点 49 点以下取得		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク 1		片桐 芳子・小倉 展伸・箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 2 年	3
授業概要			
期間限定ショップに向けた商品製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。前半の 10 回は企画デザイン、後半の 20 回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。			
学習到達目標			
販売時期やファッショントレンドを考慮した商品を製作し、出来上がった商品の価値を説明できることを目標とする。			
学習上の助言			
期間限定ショップに向けた商品製作課題です。リメイクの手法も取り入れて構いません。ファッションスタイリング科らしいオシャレ感の高いファッション提案をして下さい。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン	期間限定ショップの目的説明～何をやるべきかの理解を促す	
2~9	デザインワーク	各自のデザイン製作～個別指導、技術相談	
10	クラス内プレゼン	クラス内でのプレゼンテーション	
4	製作相談	使用素材や技術についての個別相談	
5	裁断	各自	
6	縫製	各自	
7	途中段階でのチェック	製作段階の進捗状況のチェックをする。	
8	縫製	各自	
9	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
10	終了レポート提出	次回の課題に生かす為、行ってきたこと反省をレポートにまとめる。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッションを生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッションを生み出すことができた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク2		片桐 芳子・小倉 展伸・箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	3
授業概要			
ファッションショー作品の製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。前半の10回は企画デザイン、後半の20回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。			
学習到達目標			
トータルコーディネートでプランニングした作品を製作し、出来上がった作品のポイントを説明できることを目標とする。			
学習上の助言			
ファッションショー作品の製作課題です。リメイクの手法も取り入れて構いません。ファッションスタイリング科らしいオシャレ感の高いファッション提案をして下さい。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン	期間限定ショップの目的説明～何をやるべきかの理解を促す。	
2-9	デザインワーク	各自のデザイン製作～個別指導、技術相談	
10	クラス内プレゼン	クラス内でのプレゼンテーション	
11	製作相談	使用素材や技術についての個別相談	
12	裁断	各自	
13-19	縫製	各自	
20	途中段階でのチェック	製作段階の進捗状況のチェックをする	
21-28	縫製	各自	
29	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
30	終了レポート提出	次回の課題に生かす為、行ってきたこと反省をレポートにまとめる。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッションを生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッションを生み出すことができた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク3		片桐 芳子・小倉 展伸・箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	3
授業概要			
学園祭で発表する卒業作品の製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。前半の10回は企画デザイン、後半の20回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。			
学習到達目標			
トータルコーディネートでプランニングした作品を製作し、出来上がった作品のポイントを説明できることを目標とする。			
学習上の助言			
学園祭で発表する卒業作品の製作課題です。リメイクの手法も取り入れて構いません。ファッションスタイリング科らしいオシャレ感の高いファッション提案をして下さい。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン	期間限定ショップの目的説明～何をやるべきかの理解を促す。	
2-9	デザインワーク	各自のデザイン製作～個別指導、技術相談	
10	クラス内プレゼン	クラス内でのプレゼンテーション	
11	製作相談	使用素材や技術についての個別相談	
12	裁断	各自	
13-19	縫製	各自	
20	途中段階でのチェック	製作段階の進捗状況のチェックをする	
21-28	縫製	各自	
29	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
30	終了レポート提出	次回の課題に生かす為、行ってきたこと反省をレポートにまとめる。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッションを生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッションを生み出すことができた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
incubate collection		茂垣 晴菜・窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
ファッションショー『incubate collection』の準備、実施の授業です。			
学習到達目標			
ひとつの目標に向け、組織として行動をします。責任感、行動力、協調性などの社会人基礎力を養い、現場で役立つ人材を目指します。			
学習上の助言			
各ポジションのスタッフは希望者を募り、担当教員による協議のもと決定をしますが、学校での生活や授業態度等を見て、担当教員からの推薦で決定する場合があります。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	スタッフごとに集まり、授業目的や行動上の注意等説明します。	
2	学内リハーサル	当日滞りない運営が出来る様、業務の流れを確認します。	
3	リハーサルチェック	各ポジションごとに校長先生によるチェックがあります。	
4	搬入準備	会場に搬入する備品の準備をします。	
5	設営	当日の会場内や受付の設営をします。	
6	準備	受付、誘導、ショースタートまでの流れを確認します。	
7	ショー	1st ショー	
8	ショー	2nd ショー	
9	撤収作業	学校へ持ち帰る備品を撤収します。	
10	振り返り	行ったことの振り返りをし、次年度につなげます。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、組織の一員としてしかるべき行動がとれるかなどをふまえて総合的に評価します			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰ぐことが出来、組織の一員としての行動が出来る。また、臨機応変な対応が出来る。		
B	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を上げるなど、組織の一員としての行動がおおむね出来る。		
C	社会人基礎力を備え、組織の一員としての行動が最低限出来る。		
D	組織の一員としての自覚が欠如している場合や、相応しくない行動がみられた場合。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション2		小倉 展伸 ・ 担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
スタイリストワークで製作された企画や製作した作品のプレゼンテーションをおこないます。			
学習到達目標			
説明する内容のスムーズな組み立て、声の大きさ、自分自身の立ち振る舞い、全てに神経を使いベストな状態で伝える意識と行動を身につけて下さい。			
学習上の助言			
ファッションは他者からの共感が大切です。そのためにはそれを伝える事が大変重要です。恐れずチャレンジして下さい。			
教科書及び教材			
その都度指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼンテーション見学	アパレルプロフェッショナル科2年生のプレゼンテーション見学	
2	プレゼンテーション見学	アパレルプロフェッショナル科2年生のプレゼンテーション見学	
3	プレゼンテーション準備	話の組み立てやツールの使い方の準備	
4	プレゼンテーション準備	クラス内でのプレゼンテーション練習	
5	プレゼンテーション1	期間限定ショップ 企画プレゼン 実施～評価	
6	プレゼンテーション2	期間限定ショップ 商品プレゼン 実施～評価	
7	プレゼンテーション3	incubatecollection デザインプレゼン 実施～評価	
8	プレゼンテーション4	incubatecollection コーディネートチェック 実施～評価	
9	プレゼンテーション5	incubatecollection 作品プレゼン 実施～評価	
10	プレゼンテーション6	卒業製作企画プレゼン 実施～評価	
成績評価の目安と方法			
プレゼンテーション実施前に提示する評価基準にそって教員が評価します。望む姿勢、声の大きさ、ツールの使い方、聞きやすさ、等が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
マーケットリサーチ 2		小倉 展伸 ・ 担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科 2 年	1
授業概要			
店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。見学前には必ず事前情報を与えますので、目的や疑問を持ち、それを生かした見学の仕方をして下さい。			
学習到達目標			
「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する。」学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積させて下さい。			
学習上の助言			
リサーチ内容は必ずレポートでまとめ、知識の蓄積をしていきます。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アート鑑賞 1	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
2	アート鑑賞 2	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
3	アート鑑賞 3	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
4	アート鑑賞 4	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
5	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
6	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
7	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
8	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
9	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
10	担任企画によるリサーチ課題	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が出欠確認となります。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況と内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出できています。		
C	リサーチしたことをレポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	リサーチしたことをレポートにまとめるが、未提出がある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションセミナー2		小倉 展伸・担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。			
学習到達目標			
ファッションデザインをする際、トレンド（ファッションの傾向）はいつも意識しなくてはいけないものです。この時間はそのトレンドをつかむことを目的に実施する授業です。また、業界の著名人等の講演もあり、ファッションについてどのような考えを持っているか参考にしてください。			
学習上の助言			
トレンドセミナーではわからない用語が出てくると思います。意味は必ず自分で調べるようにして下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
2	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
3	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
4	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
5	衣装セミナー	ミュージカル事前指導 見所の解説 『劇団四季 美女と野獣』	
6	衣装セミナー	ミュージカル見学～衣装セミナー 『劇団四季 美女と野獣』	
7	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
8	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
9	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
10	ファッショントーク・ライブ	特別講義 業界著名人による講演	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が出欠確認となります。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況と内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出できています。		
C	レポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	レポートにまとめるが、未提出がある。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース2		担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	3
授業概要			
学園祭や武蔵野フェス! ハロウィンパーティーの準備、実施からHRなど含まれます。必ず出席して下さい。			
学習到達目標			
社会人基礎力を養う授業です。履修目的を理解して受講してください。			
学習上の助言			
組織で目標達成が時間内で出来るように、自発的に考え物事を進めて下さい。また、問題に直面した際は仲間や担当教員と相談をし、適切な対応ができるようにして下さい。			
教科書及び教材			
その都度、必要なものを支持します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1、2	武蔵野フェス!	イベント準備 打ち合わせ	
3~6	武蔵野フェス!	イベント準備作業	
7、8	武蔵野フェス!	イベント実施	
9~16	学園祭	卒業記念コレクション 準備打ち合わせ・リハーサル	
17、18	学園祭	卒業記念コレクション 審査会	
19~22	学園祭	卒業記念コレクション 当日	
23、24	学園祭	撤収作業	
25、26	ハロウィンパーティー	ハロウィンパーティー 打ち合わせ	
27、28	ハロウィンパーティー	イベント準備作業 実施	
29、30	ハロウィンパーティー	撤収	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、組織の一員としてしかるべき行動がとれるかなどをふまえて総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力が十分身につく模範的行動が出来るレベルである。		
B	社会人基礎力が身につく行動出来るレベルである。		
C	社会人基礎力は身につくつつあるが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションスタイリスト検定【プレイヤー】		岩崎 清美	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
Styling Map ファッションスタイリスト ジュニア検定に則り、人を理論的に分析・分類し、情報を可視化し表現する			
学習到達目標			
いろいろな人に合った客観的で明確なスタイリング提案ができる			
学習上の助言			
自らも分析し、楽しんで質問も沢山してください。			
教科書及び教材			
F.S.A Styling Map ファッションスタイリスト ジュニア検定テキスト			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	Styling Mapとは	S-Mapの概要、検定目的・目標	
2	色の基礎知識	パーソナルカラーの概要	
3	カラー分析・分類の基礎	パーソナルカラーの分析・分類	
4	人の色の分析	S-Mapの人の色分析	
5	形の分析	アイテム、物の形の分析	
6	人の形の分析	S-Mapの人の形の分析	
7	素材（質感）分析・分類	アイテム、物の素材（質感）の分析	
8	人の質感の分析	S-Mapの人の質感の分析	
9	トータル分析①	S-Mapの人のトータル分析	
10	トータル分析②	S-Mapの人のトータル分析	
11	復習テスト	検定対策復習テスト	
12	検定テスト	検定テスト	
成績評価の目安と方法			
授業態度、提出物、出席率、テスト結果			
評価	成績評価別の到達度		
A	スタイリングMap検定に合格し、人に合わせたスタイリングの提案・アドバイスが適切にできる		
B	スタイリングMap検定に合格し、人に合わせたスタイリングの提案・アドバイスができる		
C	スタイリングMap検定に合格し、内容の理解ができる		
D	スタイリングMapの内容を部分的に理解できる		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションコーディネート 2		岩崎清美 ・ 本間昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科 2 年	1
授業概要			
撮影実習から学ぶスタイリングとヘアメイクの相乗効果を考えるファッションコーディネート			
学習到達目標			
コーディネート：全身トータルでファッションの提案アドバイスができる ヘアメイク：ヘアメイク：目的にあったイメージ力と施術			
学習上の助言			
コーディネート：ファッションは楽しくをモットーに、質問は沢山して下さい。 ヘアメイク：イメージ体現への施術方法			
教科書及び教材			
スタイリング：ファッション誌 ヘアメイク：ヘアメイク用品一式、FASHION COLOR 日本色研事業			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トータルコーディネイト	トータルコーディネイト 体型別	
2	ヘアメイクアップ	トータルコーディネートにおけるヘアメイクアップ 説明 撮影時の注意点	
3	トータルコーディネイト	トータルコーディネイト 撮影実習プラン設定	
4	ヘアメイクアップ	撮影実習用個人プランカラーージュ作	
5	トータルコーディネイト	トータルコーディネイト 撮影実習プラン設定会議	
6	ヘアメイクアップ	撮影実習用グループプラン ミーティング及び決定 ヘアメイク実習練習	
7	トータルコーディネイト	トータルコーディネイト 撮影実習衣装チェック	
8	ヘアメイクアップ	撮影実習用 ヘアメイク実習練習	
9	トータルコーディネイト	トータルコーディネイト 撮影実習	
10	ヘアメイクアップ	撮影本番 ヘアメイク実習	
11	トータルコーディネイト	トータルコーディネイト 撮影実習写真セレクト レタッチ	
12	ヘアメイクアップ	撮影実習 まとめ	
13	トータルコーディネイト	トータルコーディネイト 撮影実習プレゼンテーション	
14	ヘアメイクアップ	トータルコーディネートにおけるヘアメイク まとめ	
成績評価の目安と方法			
コーディネート：授業態度、制作物に取り組む姿勢、トータルファッションの習得 ヘアメイク：課題によるヘアメイクのイメージ力とその知識の習得 30点 受講姿勢 5点			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、課題の仕上がり状態が優良かつ良、それぞれのファッション、ヘアメイクイメージを習得できた。		
B	60%以上出席、課題の仕上がり状態が良、それぞれのファッション、ヘアメイクイメージを習得できた。		
C	60%以上出席、課題の仕上がり状態 可、それぞれのファッション、ヘアメイクイメージを習得できた。		
D	60%未満出席、課題の仕上がり状態 可または未提出、ファッション、ヘアメイクイメージの不習得		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイク 2		本間 昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科 2 年生	1
授業概要			
ヘアスタイリングとメイクアップ技術実習			
学習到達目標			
ヘアスタイリングとメイクアップの応用技術実習			
学習上の助言			
イメージ体现のためにはどのような技術施術が必要とされるのか? 多くの追求への手助けをします。			
教科書及び教材			
共同使用品(学内物品): ヘア用品一式、メイク用品一式 各自持参物品: ヘアスタイリング及びメイクアップ用品			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ヘアメイク応用編 概論、技術	ヘアアレンジメント、骨格を考える①	
2	ヘアメイク実習 応用編	1) 骨格を考える②	2) ハイライトとシェーディング
3	ヘアメイク実習 目的別	1) 「悪い顔」	2) 「良い顔と悪い顔コラージュ作成」
4	ヘアメイク実習 目的別	1) 「悪い顔」	2) 「'40 '50 '60 代 コラージュ作成」
5	ヘアメイク実習 目的別	1) 「'40 '50 '60 代」	2) 「'70代 コラージュ作成」
6	ヘアメイク実習 目的別	1) 「'70代」	2) 「'80 '90 代コラージュ作成」
7	ヘアメイク実習 目的別	1) 「'80'90代」	2) 「ブライダル コラージュ作成」
8	ヘアメイク実習 目的別	1) 「ブライダル」	2) 「キャラクター コラージュ作成」
9	ヘアメイク実習 目的別	1) 「キャラクター」	2) 「キャラクター コラージュ作成」
10	ヘアメイク実習 目的別	1) 「キャラクター」	
成績評価の目安と方法			
知識、技術、受講姿勢を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	ヘアメイク: 実習 80% 以上出席、ヘアスタイリング応用及びメイク応用を習得できた。		
B	ヘアメイク: 実習 60% 以上出席、ヘアスタイリング応用及びメイク応用を大まかに習得できた。		
C	ヘアメイク: 実習 60% 以上出席、ヘアスタイリング応用及びメイク応用を部分的習得できた。		
D	ヘアメイク: 実習 60% 未満出席、ヘアスタイリング応用及びメイク応用が不習得である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタジオワーク		岸本 咲子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科 2 年	1
授業概要			
一眼レフカメラを用い、ロケ撮影とスタジオ撮影の両方を行います。基本的な撮影技術や写真知識を習得することで、スタイリングに合った写真表現ができるようになることを目指しています。			
学習到達目標			
カメラや撮影機材の操作方法と基本的な撮影技術を習得し、自身でプランニングしたコーディネート作品を撮影出来るレベルを目標とする。			
学習上の助言			
1回ずつの授業を積み重ねることで段階的に技術を習得していきますので、わからなくなったら後回しにせず、いつでも遠慮なく質問してください。			
教科書及び教材			
参考資料として、自分が好きな写真や撮ってみたいと思う写真（雑誌・広告・フライヤー・カバーフォトなど）を持参してください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	カメラ・レンズ操作入門	一眼レフカメラとレンズの扱いに慣れるよう、まずは実際に撮影をしてみます。	
2	撮影技術①	基本的な一眼レフでの撮影方法（露出の仕組みやカメラモード）を学びます。	
3	撮影技術②	一眼レフでの撮影方法の理解を深め、また自然光の撮影でライティングの基本を学びます。	
4	スタジオ撮影①	スタジオでの動きや機材に慣れ、スタジオでの撮影方法を実践的に学びます。	
5	スタジオ撮影②	様々なスタジオライティングを実践的に学びます。	
6	スタジオ撮影③	スタジオ撮影の理解を深め、作品制作の準備を開始します。	
7	作品制作①	作品撮影のプランニング、撮影日の段取りや計画等を行います。	
8	作品制作②	チームに分かれて、ロケとスタジオで一人1点ずつ作品を撮影します。	
9	作品制作③	チームに分かれて、ロケとスタジオで一人1点ずつ作品を撮影します。	
10	出力・講評	PCへの取り込みや編集を行い、作品を出力します。	
成績評価の目安と方法			
技術・知識の習得度と、それらが作品へ適切に反映されているかを総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	意欲的に技術を習得し、意図に適した写真表現がなされ、完成度の高い作品が制作できた。		
B	技術を習得し、意図に適した写真表現がなされ、良い作品を制作できた。		
C	チームの助けを得て、良い作品を制作できた。		
D	十分な技術習得ができなかった、作品を提出できなかった、など。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ポートフォリオメイキング		小倉 展伸 ・ 茂垣 晴菜	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科 2 年	1
授業概要			
スタジオワークの授業で得た撮影技術を使い自身でプランを立てたファッションコーディネート作品を撮影し、作品集（ポートフォリオ）を製作します。			
学習到達目標			
自身でプランニングしたファッションコーディネート作品を撮影し、他者から魅力的なビジュアル表現と認識される作品を仕上げる。			
学習上の助言			
撮影するだけでなく、自身でプランニングしたファッションコーディネート作品が魅力的でないといけません。作品のコンセプトやテーマ設定の明確化、ヘアメイク、ロケ地選びなど細部まで丁寧に計画してのぞんでください。			
教科書及び教材			
一眼レフカメラ、照明機材、プリンターは学校の設備を利用できます。 プリント用紙は受講生が用意してください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	コーディネートプランニング	コーディネートの計画を立てます。	
2	撮影プランニング	撮影場所、日時、モデルの手配など	準備計画を立てます。
3	撮影プランニング	撮影場所、日時、モデルの手配など	準備計画を立てます。
4	撮影	撮影作業	ロケ
5	撮影	撮影作業	ロケ
6	撮影	撮影作業	ロケ
7	撮影	撮影作業	ロケ
8	撮影	撮影作業	ロケ
9	プリントアウト	作品の出力作業	
10	作品提出	提出作品の批評 学生間での批評会	
成績評価の目安と方法			
期限内での作品完成、完成作品の魅力（担当教員による協議で判断）			
評価	成績評価別の到達度		
A	期限内に提出し、ファッション表現として魅力的な作品に仕上がっている。		
B	期限内に提出し、自身でプランニングした撮影作品を仕上げた。		
C	提出期日には遅れたが、自身でプランニングした撮影作品を仕上げた。		
D	作品未提出		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストトレーニング2		指導担当スタイリスト・茂垣 晴菜	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
スタイリストのインターンシップです。スタイリストトレーニング1で学んだことを生かして現場経験を積んでください。また、この機会を通して卒業後に師事していくスタイリストを選ぶことにもなります。			
学習到達目標			
アシスタントレベルで必要とされる仕事内容の習得を目指します。			
学習上の助言			
授業で習ってきたこと以外に社会人基礎力、礼節が必要です。現場では指導担当スタイリスト以外にその現場のクライアントさんやタレントさん等いらっしゃいますので、特に礼節には注意してください。			
教科書及び教材			
実習報告書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項、必要書類の記入の注意など	
2	インターン実施	派遣先スタイリストの元でインターンシップ	
3		主に行う内容 撮影の同行、スタイリング、アイロンがけ、裾まつり、タグの管理、	
18		ピックアップ及び返却業務 等	
	インターン終了		
19	実習報告書記入	実習報告書記入 学内担当者へ提出	
20	まとめ	結果報告会	
成績評価の目安と方法			
指導担当スタイリストによる 総合評価			
【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	指導担当スタイリストによる総合評価 A取得であり評価項目は全てAである		
B	指導担当スタイリストによる総合評価 A取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる		
C	指導担当スタイリストによる総合評価 B取得		
D	指導担当スタイリストによる総合評価 C取得		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス3		吉井 たか子 ・ 奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
<p>ファッションビジネス検定2級合格を目指します。 また、進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。</p>			
学習到達目標			
<p>2級においては、「ファッションビジネス知識」と「ファッション造形知識」の2科目で構成されています。「ファッションビジネス知識」は全試験配点の60%の得点を、「ファッション造形知識」は70%の得点を目安に到達目標とします。</p>			
学習上の助言			
<p>アパレル業界で即戦力として幅広く活躍出来るように知識を身につけましょう。</p>			
教科書及び教材			
<p>ファッションビジネス能力検定試験2級準拠 ファッション辞典 服地がわかる事典</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション文化・デザイン文化	ファッション文化とデザイン文化 ファッション・コーディネート	
2	ファッション商品知識	アパレル商品部門・服種・アイテム シルエット、ディテール	
3	ファッション商品知識	服種雑貨の商品知識 素材の専門知識 副資材の知識	
4	ファッション商品知識	シルエット・ディテール 服飾雑貨の商品知識	
5	パターンメイキング	ファッション・エンジニアリング	
6	アパレル生産と物流	アパレル生産管理、品質管理 アパレル物流 QRの基礎知識	
7	ファッション流通1	アパレル流通戦略 アパレル、小売、SCの取引特性	
8	ファッション流通2	アパレル営業とチャネル管理 模擬問題 解答解説	
9	販売管理とプロモーション1	アパレル流通戦略 アパレル、小売、SCの取引特性	
10	販売管理とプロモーション2	アパレル営業とチャネル管理 模擬問題 解答解説	
11	キャリアプラン	職種別業務内容 自己啓発と自己管理	
12	ビジネス基礎知識1	マネジメント基礎知識 計数管理 1	
13	ビジネス基礎知識2	計数管理 2 模擬問題 解答解説	
14	模擬試験	ファッション・ビジネスの特性～ビジネス基礎知識までの模擬試験	
15	模擬試験 解答・解説	解答と解説	
成績評価の目安と方法			
<p>知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、ファッションビジネス能力検定2級試験結果を総合的に評価</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス、造形とも2級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス、造形とも2級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス、造形とも2級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマーケティング		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科 2 年	1
授業概要			
現在のファッション業界やアパレル産業の仕組み、消費者ニーズに基づく製品企画、価格やマーチャндаイジング構築、小売店の運営や販売等の流通戦略、販売促進計画などについて学ぶ。また衣料品領域以外にも拡大していくファッションマーケティングの現況についても、身近な事例や自らの業務経験を交えて概説します。			
学習到達目標			
実務上で応用が利くマーケティングの基礎知識を幅広く習得することが目標です。			
学習上の助言			
授業内では毎回課題を出します。遅刻をしない様に出席してください。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業の概要を理解する	
2	マーケティング概要	マーケティングとは、マーケティングの必要性とは	
3	マーケティング用語について	4P、ベネフィット、差別化、セグメンテーション	
4	生活者について	買い物行動について	
5	企業比較	身近で同じカテゴリーの企業を比較する	
6	商品比較	身近で同じカテゴリーの商品を比較する	
7	SWOT分析	マーケティング課題を発見する	
8	SWOT分析	マーケティング課題を発見する	
9	ブランドについて	「ブランド」はなぜ必要か	
10	マーケティングリサーチ	フィールドワークの方法	
11	企画書	企画書の作成、企画内容発表	
12	企画書に関わるデザインとアプローチ	各自企画書に基づいてデザイン画、マップ作成、消費者へのアプローチ方法をまとめる	
13	プレゼンテーション方法	プレゼンテーションの組み立て方、テクニック	
14	プレゼンテーション	各自プレゼンテーションと評価を行う	
15	まとめ	全体のまとめ 最終課題提出	
成績評価の目安と方法			
各回で実施する課題、授業態度、最終プレゼンで評価を行います。授業実施回数 2 / 3 以上の出席を要する			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションマーケティングの基礎知識を十分に理解した		
B	ファッションマーケティングの基礎知識を良く理解した		
C	ファッションマーケティングの基礎知識を理解した		
D	単位認定不可		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ショップマネジメント 2		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科 2 年	2
授業概要			
<p>期間限定ショップの準備から実施まで行う授業です。前年度の振り返りから課題を見つけ、今年度の自分たちの目標を設定し、それに向けての施策を計画し、実行していきます。</p>			
学習到達目標			
<p>組織として目標達成のために自分自身に何ができるかを考え、行動する力を身につけます。</p>			
学習上の助言			
<p>行事ではなく PDCA の実践の授業です。問題に直面することが多くありますが、考え行動し、物事を前に進めていく力を身につけてください。</p>			
教科書及び教材			
<p>設定した目的達成のために、学内備品または各自が使えるものすべてを有効に使ってください。</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	期間限定ショップ 目標設定	昨年度の振り返りと今年度の目標を設定します。	
2~4	目標達成への施策検討	設定した目標の実現に向けて具体的な施策案をまとめます。	
5~7	目標達成への施策決定会議	設定した目標の実現に向けて具体的な施策を計画します。	
8~9	運営チーム結成	1 年生と合同で運営チームを作り、売上を競います。	
10	オープン準備	各担当に分けて、オープンに向けての準備をします。	
11~12	販売活動 1	チームごとに担当営業日を運営します。	
13	検証会議	オープン後、数日経過したところに出てきた問題や成果を検証し、修正していく会議です。	
14~17	店頭販売 2	検証会議の修正を踏まえて販売活動を行います。	
18~19	撤収作業	商品、備品類の撤収準備から撤収作業まで行います。	
20	反省会	実施結果の検証をします。	
成績評価の目安と方法			
<p>授業内で説明するルーブリックに沿って評価します。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力と販売能力が十分身につく模範的行動が出来るレベルである。		
B	社会人基礎力と販売能力が身につく行動出来るレベルである。		
C	社会人基礎力と販売能力は身につくつつあるが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力と販売能力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス2		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
就職を希望する学生が自信を持って就職試験に行けるように自身の考え、表現力をまとめ伝えられる様に、就職試験対策を行う。			
学習到達目標			
自分の考え、作品内容などをまとめた確に伝えることができるようになることを目標とします。			
学習上の助言			
授業内では毎回課題を出します。遅刻をしない様に出席してください。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介しします。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業の概要を理解する	
2	採用試験について	採用試験の種類を理解する 受験する際の注意事項	
3	面接について	面接の目的 面接官の視点 面接マナーについて	
4	面接練習	個人面接 言葉使い 身だしなみ 姿勢	
5	面接練習	個人面接	
6	企業との連絡の取り方	ビジネスメール、手紙、電話の方法	
7	面接練習	グループ面接 各種役割とその内容について	
8	面接練習	グループ面接	
9	面接練習	グループ面接	
10	面接練習	グループ面接	
11	面接練習	質問事項の答えをまとめる	
12	面接練習	グループディスカッション	
13	面接練習	グループディスカッション	
14	面接練習	グループディスカッション	
15	内定通知の受取方	内定から入社までの流れ お礼状の書き方 内定後の過ごし方	
成績評価の目安と方法			
各回で実施する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う		授業実施回数 2 / 3 以上の出席を要する	
評価	成績評価別の到達度		
A	自分の考え作品内容などをまとめ十分に伝えることができる		
B	自分の考え作品内容などをまとめ良く伝えることができる		
C	自分の考え作品内容などをまとめ伝えることができる		
D	単位認定不可		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヴィジュアル・マーチャンダイジング		深海 美香	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
ファッションビジネスで重要視されているヴィジュアル・マーチャンダイジングを講義と実習で学びます。			
学習到達目標			
VMD用語の習得、VMD基礎知識の習得、ヴィジュアル表現テクニックの習得、技能検定「3級」レベルの習得			
学習上の助言			
技能検定「3級」レベルの習得を目指して学んでください。			
教科書及び教材			
毎回持参するもの 筆記用具 配布テキスト 教科書 VMD用語辞典			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	VMD概論	「カリキュラム・授業内容」の説明『VMDとは』VMDのとらえ方 VMDの構成	
2	VMD基礎編	「MDとは」製造業のMDと小売業のMD、MD計画、商品をとるまわりの流れ	
3	VMD基礎編 売り場づくりの基本	「SDとは」店舗・什器計画、「人間を知る1」ヒトの体と行動特性、購買心理	
4	VMD基礎編 売り場づくりの基本	「MPとは」VP,PP,IP ディスプレイと陳列の違い	
5	VMD技術編	「MP」ディスプレイ概論、ディスプレイの基礎知識「人間を知る2」	
6	VMD実践編	売り場づくりの基本、「MD&MP」分類とゾーニング、「VMDとは」MD,SD,MP総復習	
7	VMD概論	復習テスト/VMD用語テスト	
8	VMD基礎	「仮想SHOP」イメージグラフィック作成	
9	VMD技術編	「MP」ゾーニングテクニック…「ラッピング」	
10	VMD総集編	総合テスト/VMD用語テスト	
成績評価の目安と方法			
●出欠状態（遅刻・早退も含む） ●課題（提出状況・仕上がり） ●授業内容の理解力（テスト結果） ●授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	総合テスト/VMD用語テスト 90点以上取得		
B	総合テスト/VMD用語テスト 80点以上取得		
C	総合テスト/VMD用語テスト 60点以上取得		
D	総合テスト/VMD用語テスト 59点以下取得		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレルインターンシップ		企業担当者・小倉 展伸・茂垣 晴菜	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
アパレル企業の販売職のインターンシップです。販売実務と店舗での付帯業務を実体験し、学校での学びの成果と不足部分の確認をし、今後の学習に役立ててください。			
学習到達目標			
新入社員レベルで必要とされるレベルまで習得を目指します。			
学習上の助言			
社会人としての行動が求められる場です。入学から現在までに学習してきたことを生かす様、のぞんでください。			
教科書及び教材			
実習報告書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項、必要書類の記入の注意など	
2	事前指導	受け入れ先企業の情報を収集し基礎知識を蓄える。	
3	インターン実施	派遣企業でインターンシップ	
4			
18	インターン終了		
19	実習報告書記入	実習報告書記入 学内担当者へ提出	
20	まとめ	結果報告会	
成績評価の目安と方法			
企業側担当者による 総合評価			
【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	企業担当者による総合評価	A取得であり評価項目は全てAである	
B	企業担当者による総合評価	A取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる	
C	企業担当者による総合評価	B取得	
D	企業担当者による総合評価	C取得	

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
帽子製作		日田 泰造	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
自分でデザインした帽子を製作しています。11月に発表するコレクション作品でトータルコーディネート			
学習到達目標			
自分のイメージしたデザインをいかに厳密に正確により早く美しく仕上げる			
学習上の助言			
ショー作品			
教科書及び教材			
スケッチブック、着色材一式、メジャー、各自製作用素材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	説明～実習	サンプルの解説、素材の解説、道具の解説、デザイン画を描く	
2	製作作業	型入れ、及び作図	
3	製作作業	製作作業	
4	製作作業	製作作業	
5	製作作業	製作作業	
6	製作作業	製作作業	
7	製作作業	製作作業	
8	製作作業	製作作業～完成	
成績評価の目安と方法			
技術力、理解力、課題提出、出席状況を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	道具の使用法を理解し、デザインに適合した素材を選び期日に完成させた。		
B	道具の使用法を理解し、作品を期日に完成させた。		
C	作品を期日に完成させた		
D	道具の理解やデザインに適合した素材選びが未熟であるが作品は完成させた。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
販売士検定 2 級対策講座		株式会社 エストール	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科 1 年 ファッションスタイリング科 2 年	1
授業概要			
<p>①テキスト本位の単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。誰もが知っている具体的な有名企業の事例として説明することで、より分かりやすく、より興味を持たせる授業を実施。</p> <p>②試験直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施。</p>			
学習到達目標			
販売士検定 2 級の合格			
学習上の助言			
平均点 70 点以上が合格です。			
教科書及び教材			
講義用教材として出題率 80% 以上と規定されている「販売士 2 級ハンドブックセット（日本商工会議所編集）」を使用。 その他の配布用教材 ①講義毎レジュメ ②重要キーワードチェックリスト③出題予想模擬試験問題、及び解答解説集			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	小売業の類型	・流通と小売業の役割 ・流通経路政策	
2	小売業の類型	・組織形態別小売業の運営特性 ・店舗形態別小売業の運営特性	
3	小売業の類型	・チェーンストアの目的と運営 ・商業集積の運営特性	
4	マーチャンダイジング	・仕入計画の立案と運用システム ・戦略的商品計画の立案	
5	マーチャンダイジング	・価格設定の方法 ・商品管理の実際	
6	マーチャンダイジング	・販売計画の立案と管理 ・小売業の物流システム	
7	ストアオペレーション	・店舗運営サイクルの実践と管理 ・戦略的購買促進の実施方法	
8	ストアオペレーション	・戦略的ディスプレイの実施方法 ・レイバースケジュールプログラムの役割としくみ	
9	マーケティング	・小売業のマーケティングミックス ・マイクロマーケティングの展開方法	
10	マーケティング	・マーケティング戦略の方法・マーケティングリサーチの実施方法・商圏分析の立案と実施方法	
11	マーケティング	・出店戦略の立案と実施方法 ・販売促進策の企画と実践	
12	直前対策	・模擬試験問題の解答解説（小売業の類型）	
13	直前対策	・模擬試験問題の解答解説（マーチャンダイジング/ストアオペレーション）	
14	直前対策	・模擬試験の解答解説（マーケティング）	
15	直前対策	・模擬試験の解答解説	
成績評価の目安と方法			
出席評価、受講状況と検定試験平均点の合計点で評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	販売士 2 級検定試験 平均点 70 点以上取得		
B	販売士 2 級検定試験 平均点 60 点以上取得		
C	販売士 2 級検定試験 平均点 50 点以上取得		
D	販売士 2 級検定試験 平均点 49 点以下取得		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ネイルアート		岩崎 清美	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
ネイルアートを習得し、指先までのトータルファッションの提案・表現の構築			
学習到達目標			
ネイルアートを習得し、トータルファッションの提案・表現の習得			
学習上の助言			
技術を楽しく学び、自由な発想で個性を表現してください。			
教科書及び教材			
ポリッシュ、ファイル、リムーバー、エタノール、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	爪の名称	ファイリング	
2	ハンドマッサージ	キューティクルクリーン	
3	ネイルカラー	ブリッシュ1色塗り	
4	ネイルカラー	アート、ジェム、フレンチ	
5	ネイルカラー	アート、ファン、ピーコック、マーブル、フラットアート(アクリル)	
6	チップデザイン画	チップデザイン画制作	
7	チップ制作	チップデザイン画制作	
8	チップ制作	オリジナルチップ制作	
成績評価の目安と方法			
授業態度、出席率、制作提出物			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションに合わせた発想豊かなネイルアートの提案ができる		
B	ファッションに合わせたネイルアートの提案ができる		
C	ファッションにあわせたネイルアートの理解ができた		
D	制作、提出物が無く、ネイルアートに対しての理解が部分的にできた		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
incubate collection		茂垣 晴菜 ・ 窪寺 瞳	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
ファッションショー『incubate collection』の準備、実施の授業です。			
学習到達目標			
ひとつの目標に向け、組織として行動をします。責任感、行動力、協調性などの社会人基礎力を養い、現場で役立つ人材を目指します。			
学習上の助言			
各ポジションのスタッフは希望者を募り、担当教員による協議のもと決定をしますが、学校での生活や授業態度等を見て、担当教員からの推薦で決定する場合があります。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	スタッフごとに集まり、授業目的や行動上の注意等説明します。	
2	学内リハーサル	当日滞りない運営が出来る様、業務の流れを確認します。	
3	リハーサルチェック	各ポジションごとに校長先生によるチェックがあります。	
4	搬入準備	会場に搬入する備品の準備をします。	
5	設営	当日の会場内や受付の設営をします。	
6	準備	受付、誘導、ショースタートまでの流れを確認します。	
7	ショー	1st ショー	
8	ショー	2nd ショー	
9	撤収作業	学校へ持ち帰る備品を撤収します。	
10	振り返り	行ったことの振り返りをし、次年度につなげます。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、組織の一員としてしかるべき行動がとれるかなどをふまえて総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰ぐことが出来、組織の一員としての行動が出来る。また、臨機応変な対応が出来る。		
B	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰げるなど、組織の一員としての行動がおおむね出来る。		
C	社会人基礎力を備え、組織の一員としての行動が最低限出来る。		
D	組織の一員としての自覚が欠如している場合や、相応しくない行動がみられた場合。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデルウォーキング		walking posing school Harscente (ハルシエンテ)	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	全学生内より選抜された学生	1
授業概要			
incubate collection においてモデルとしてステージに立つために必要な、作品イメージを表現をするウォーキングを身につけます。			
学習到達目標			
担当作品のイメージを表現するウォーキング、ポージングの習得			
学習上の助言			
身体の動きとしてウォーキング、ポージングの習得だけでなく、作品を表現する姿勢も重要です。授業ではその部分の指導もしていきます。			
教科書及び教材			
体の動きがわかやすい体の線がわかる服で受講し、作品に合わせた練習用の靴を持参してください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	基本姿勢の練習	ガイダンス 基本姿勢の説明～練習	
2	基本ウォーキング練習	美しく歩く基本ウォーキングの説明～練習	
3	基本ウォーキング練習	美しく歩く基本ウォーキングの練習	個別指導
4	基本ウォーキング練習	美しく歩く基本ウォーキングの練習	個別指導
5	ウォーキングレッスン	作品に合わせたウォーキングを指導	
6	ウォーキングレッスン	本番での使用曲に合わせてのウォーキング練習	個別指導
7	ウォーキングレッスン	本番での使用曲に合わせてのウォーキング、ポージング練習	個別指導
8	学内リハーサル	ランニングオーダーに沿ってリハーサルを実施	
9	学内リハーサル	ランニングオーダーに沿ってリハーサルを実施～修正指導	
10	学内最終リハーサル	本番前の最終リハーサル	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢、ウォーキング、ポージングの習得状況を総合的に判断			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的姿勢で受講し、作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得し、見る側を魅了するレベルである		
B	積極的姿勢で受講し、作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得		
C	作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得		
D	担当作品のイメージを理解したウォーキング、ポージングの習得が曖昧		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイクスタッフ		本間 昭子 ・ 茂垣 晴菜	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科 2 年 ファッションスタイリング科 1 年	1
授業概要			
incubate collection 2017のヘアメイクを行う授業です。作品ごとのプランニング、練習、スタイリングチェックでの修正を経て、本番にのぞみます。			
学習到達目標			
作品のイメージを理解したヘアメイクのプランニングと実施。トータルコーディネート of 審美眼を養います。			
学習上の助言			
ヘアメイクの技術だけでなくコレクションを成功させるための意欲と行動が必要です。学生間の協力が重要になりますので意識してのぞんでください。			
教科書及び教材			
ヘア用品一式、メイク用品一式、各自持参物：ヘアスタイリング及びメイクアップ用品			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	イメージ理解	作品ごとのイメージを理解し、メイクプランを組み立てます。	
2	練習	メイクプランを実際に行います	
3	練習	メイクプランを実際に行います	
4	練習	メイクプランを実際に行います	
5	スタイリングチェック	実際のモデル、服でヘアメイクを行います。（スタイリングチェック準備）	
6	スタイリングチェック	服、ヘア、メイクをトータルバランスでチェックします	
7	修正作業	トータルバランスでチェックでの修正箇所を手直しします。	
8	修正作業	トータルバランスでチェックでの修正箇所を手直しします。	
9	最終チェック	修正を加えてトータルバランスでチェック（準備）	
10	最終チェック	修正を加えてトータルバランスでチェック（完成確認）	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢、作品イメージの理解力、ヘアメイクの技術力、責任感			
評価	成績評価別の到達度		
A	コレクション成功に向け意欲的に取り組み、担当作品が映えるヘアメイクを完成させた。		
B	コレクション成功に向け意欲的に取り組み、担当作品のヘアメイクを完成させた。		
C	担当作品のヘアメイクを完成させた。		
D	担当作品を完成させられなかった。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションスタッフ		茂垣 晴菜	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
ファッションショー『incubate collection』の準備、運営の授業です。			
学習到達目標			
ひとつの目標に向け、組織として行動をします。責任感、行動力、協調性などの社会人基礎力を養い、現場で役立つ人材を目指します。			
学習上の助言			
各ポジションのスタッフは希望者を募り、担当教員による協議のもと決定をしますが、学校での生活や授業態度等を見て、担当教員からの推薦で決定する場合があります。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	資料製作	ランニングオーダー製作	
2	選曲	シーンごとの選曲作業	
3	ミーティング	タイムスケジュール打ち合わせ	
4	リーフレット製作	原稿製作	
5	プロモーション活動	集客のためのプロモーション活動（計画～実施）	
6	学内リハーサル運営	学内リハーサル準備・運営	
7	会場視察	会場視察・音響、照明業者打ち合わせ	
8	前日準備	搬入物準備・作品運搬準備	
9	当日リハーサル	リハーサル運営・会場設営	
10	当日	各ポジションにて役割の遂行	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、組織の一員としてしかるべき行動がとれるかなどをふまえて総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰ぐことが出来、組織の一員としての行動が出来る。また、臨機応変な対応が出来る。		
B	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰げるなど、組織の一員としての行動がおおむね出来る。		
C	社会人基礎力を備え、組織の一員としての行動が最低限出来る。		
D	組織の一員としての自覚が欠如している場合や、相応しくない行動がみられた場合。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
技術認定対策講座 [中級]		松山 由未	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
様々な科目から学んだ知識の中から基本的な服装知識・素材・縫製・製図等を整理分類し、技術検定中級の受験対策として学ぶ			
学習到達目標			
技術検定中級合格			
学習上の助言			
基本のファッション用語を日常出来るだけ使用し、身に付けましょう			
教科書及び教材			
洋裁技術検定試験問題集・ファッション辞典・服地がわかる事典・パターン用具（縮尺1/4）一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	服装知識	一般的なレディースウエア及びメンズウエアの服種と名称	
2	ファッションビジネス	ファッションビジネス用語	
3	デザイン	一般的な服の名称及びそのスタイル画・裁断図からデザイン画へ	
4	素材	織糸の原料・布地の織り方・染色・加工・布地の特徴	
5	製図	基本的製図及び応用製図の考え方	
6	裁断	布地を裁断する場合の留意点・用布の見積り法・裁断図	
7	縫製	素材に対する縫製上の留意点	
8	//	縫製行程分析の作成（スカート・ブラウス）	
9	補正法	体型に合わせ身頃、スカート、スーツ、コートなどの基本的な補正	
10	服装史	服装の歴史による、その時代のシルエットの名称	
11	製図（縮尺1/4）	ワンピースA・B	
12	//	シャツブラウス	
13	//	パンツ・キュロットスカート	
14	模擬試験		
15	模擬試験（解答・説明）		
成績評価の目安と方法			
洋裁技術検定中級合格・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	洋裁技術検定中級合格・中級の出題範囲のパターンを良く理解している		
B	洋裁技術検定中級合格・中級の出題範囲のパターンを理解している		
C	中級の出題範囲のパターンを理解している		
D	服装知識・中級の出題範囲のパターン等の理解が不足している		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
フォーマルスペシャリスト準 2 級検定		松山 由未	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	ファッションスタイリング科 2 年	1
授業概要			
フォーマルスペシャリスト検定準 2 級（ブロンズライセンス）認定試験対策講座。			
学習到達目標			
フォーマルシーンでのルールを学ぶことで幅広い知識の修得とフォーマルライセンスの取得。			
学習上の助言			
資格取得の意義に留まらず、公式の場に於いて必ず役に立つ知識です。ブライダル等、活動の幅も広がるでしょう。			
教科書及び教材			
フォーマルウェアルールブック、授業内でレジュメ配布、A4クリアファイル他授業内で告知。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	フォーマルの定義	プロトコール、T・P・O、オケージョン	
2	フォーマルライフスタイル	シーンとセレモニー	
3	フォーマルの歴史	17世紀ヨーロッパから20世紀日本	
4	フォーマルシーン分類	国際プロトコール、日本プロトコール	
5	昼のフォーマルシーン	正礼装、準礼装、略礼装	
6	夜のフォーマルシーン	正礼装、準礼装、略礼装	
7	ブライダルフォーマルシーン	正礼装、準礼装、略礼装	
8	喪のフォーマルシーン	正喪服、準喪服、略喪服	
9	フォーマルウェアメニュー	アイテムとアクセサリー	
10	テスト		
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	フォーマルシーンのルールを積極的に学び、大変よく理解し、認定試験に合格している。		
B	フォーマルシーンのルールを積極的に学び、よく理解している。		
C	フォーマルシーンのルールを学び、よく理解している。		
D	フォーマルシーンのルールを学んだ。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス3		茂垣 晴菜	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
TシャツデザインコンテストにエントリーするTシャツデザインデータを時代性やデザイン性を考慮し、作成します。			
学習到達目標			
MacintoshでIllustratorやPhotoshopを使用し、Tシャツデザインコンテストに新鮮且つ完成度の高い作品を2作品以上エントリーします。			
学習上の助言			
デザインをする上で技術面の向上を意識するだけでなく、メディアや様々なジャンルの書籍、サブカルチャーなど、多方面に目を向け魅力的なデザインを表現する準備を整えることが望ましいです。			
教科書及び教材			
筆記用具、事前リサーチ・準備（作品に使用する雑誌や写真等）			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	Tシャツデザインコンテスト1	PC・Illustrator・Photoshopの基本操作復習、デザイン資料収集	
2	Tシャツデザインコンテスト2	作品テーマ、エントリー規定説明、デザイン相談	
3	Tシャツデザインコンテスト3	作品テーマ、エントリー規定説明、企画相談、デザイン実習1	
4	Tシャツデザインコンテスト4	デザイン実習2	
5	Tシャツデザインコンテスト5	デザイン実習3	
6	Tシャツデザインコンテスト6	作品の仕上げ、完成データ提出	
7	Tシャツデザインコンテスト7	エントリーシートデータ入力、エントリーシートデータ提出	
8	オリジナルデザインプリント1	各種プリント手法説明、作品相談、デザイン実習1	
9	オリジナルデザインプリント2	デザイン実習2	
10	オリジナルデザインプリント3	作品の仕上げ、完成データ提出、オリジナルデザインプリント出力	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	2作品以上の提出があり、技術を効果的に応用・工夫し、時代性のある高度なデザインが出来る。		
B	2作品以上の提出があり、技術を効果的に応用・工夫し、高度なデザイン表現が出来る。		
C	2作品以上の提出があり、基本的な技術を理解して効果的に使用し、デザイン表現が出来る。		
D	提出作品が2作品に満たない場合、また2作品の内容が粗悪である場合。		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンテストコーチング		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
各種デザインコンテストに入選する為のノウハウ、アパレルデザインの考え方を身につけます。			
学習到達目標			
企業、各自治体の実施しているファッションデザインコンテストに応募、入賞を目指します。			
学習上の助言			
クリエイターへの第一歩。効果的なラインの引き方から学びます。 新しい自分の才能が発見出来るよう頑張りましょう！			
教科書及び教材			
各種コンテスト受賞作品（実物、写真データ）			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	概要説明	各種コンテストの特徴と応募について	
2	コンテストデザインの考え方	コンテストデザインの考え方、素材とデザイン	
3	元型作成 1	各自の個性に合わせた描きやすい元型の作成 について	
4	元型作成 2	個別実習（元型の作成）	
5	元型作成 3	個別実習（元型の作成）	
6	元型完成 4	個別実習（元型の完成）	
7	デザイン実習 1	植物、昆虫等、自然界にあるデザインをテーマとしたデザイン作成	
8	デザイン実習 2	植物、昆虫等自然界にあるデザインをテーマとしたデザイン作成～下書き仕上げ	
9	パステルによる着色	パステル、色鉛筆によるデザイン画着色方法の習得	
10	デザイン実習 3	個別相談～修正	
11	デザイン実習 4	個別デザイン実習～相談～修正	
12	デザイン実習 5	個別デザイン実習～相談～修正	
13	デザイン実習 6	個別デザイン実習～相談～修正	
14	デザイン実習 7	個別デザイン実習～相談～修正	
15	デザイン実習 8	個別デザイン実習～相談～修正	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	コンテストデザインの考え方を十分に理解している		
B	コンテストデザインの考え方をおおまかに理解している		
C	コンテストデザインの考え方を最低限理解している		
D	特定の技術習得ができていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンテストコーチング		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
各種デザインコンテストに入選する為のノウハウ、アパレルデザインの考え方を身につけます。			
学習到達目標			
企業、各自治体の実施しているファッションデザインコンテストに応募、入賞を目指します。			
学習上の助言			
いよいよ各種コンテストにチャレンジします。 クリエイターになる夢が実現出来るように頑張りましょう。			
教科書及び教材			
過去受賞作品及び受賞例参考書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	概要説明	各種コンテストの特徴と応募について	
2	コンテストデザインの考え方1	コンテストデザインの考え方	
3	コンテストデザインの考え方	素材とデザイン	
4	元型作成1	各自の個性に合わせた描きやすい元型の作成1	
5	元型作成2	各自の個性に合わせた描きやすい元型の作成2	
6	元型完成	修正～完成	
7	デザイン実習1	植物をテーマとしたデザイン作成	
8	デザイン実習2	相談～修正	
9	パステルによる着色	パステル、色鉛筆によるデザイン画着色方法	
10	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
11	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
12	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
13	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
14	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
15	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	コンテストデザインの考え方を十分に理解している 自分が目標とするコンテストへのエントリー達成		
B	コンテストデザインの考え方をおおまかに理解している		
C	コンテストデザインの考え方を最低限理解している		
D	特定の技術習得ができていない		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
インターンシップ		企業担当者・小倉 展伸・小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
企業で業務体験をし、企業側から評価を受ける授業です。自身の長所短所、希望業務の適性を計る機会にもなります。			
学習到達目標			
新入社員レベルで従事できる意識と行動レベルまで習得を目指します。			
学習上の助言			
専門的知識、技術のほかに社会人基礎力が求められる場です。意識してのぞんでください。			
教科書及び教材			
実習報告書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項、必要書類の記入指導	
2	事前指導	参加準備として受け入れ先企業の情報を収集し基礎知識を蓄える	
3	インターン実施	派遣企業でインターンシップ	
4			
18	インターン終了		
19	実習報告書記入	実習報告書記入 学内担当者へ提出	
20	まとめ	結果報告会	
成績評価の目安と方法			
企業側担当者による 総合評価			
【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	企業担当者による総合評価	A取得であり評価項目は全てAである	
B	企業担当者による総合評価	A取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる	
C	企業担当者による総合評価	B取得	
D	企業担当者による総合評価	C取得	

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
キャンパスサポート		窪寺 瞳 ・ 高橋あやめ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
本校の体験入学において接遇を学ぶ機会であり、人格教育としての面もあります。初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手への気遣いを身につけていきます。			
学習到達目標			
初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手へ遣いが出来るレベルを身につけてください。また、2年生は1年生をリードしていくことが出来ることも目指してください。			
学習上の助言			
学内で行うインターンシップとしてのぞんでください。担当日は責任をもって出席し、体調不良などの理由で遅刻、欠席の場合は速やかな報告をしてください。			
教科書及び教材			
必要に応じて担当教員から指示をします。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項の説明 評価項目についての説明	
2	事前指導	実習や教室の準備	
3	体験入学当日	1日の流れ 朝礼9:00	
4		参加者の誘導～実習準備	
18		実習サポート	
		昼食	
		お見送り	
		終礼	
19	レポート作成	反省会 改善点の提案などを出してください	
20	評価	各自へ評価結果を口頭で伝えます。	
成績評価の目安と方法			
評価項目 積極性 理解力 行動力 責任感 気遣い 礼儀 6項目を総合的に評価 【総合評価はA B Cの3ランクで評価】			
評価	成績評価別の到達度		
A	総合評価はA取得であり評価項目は全てAである		
B	総合評価はA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる		
C	総合評価 B取得		
D	総合評価 C取得		

平成 28 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
キャンパスサポート		窪寺 瞳 ・ 高橋あやめ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科1年 ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
本校の体験入学において接遇を学ぶ機会であり、人格教育としての面もあります。初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手への気遣いを身につけていきます。			
学習到達目標			
初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手へ遣いが出来るレベルを身につけてください。			
学習上の助言			
学内で行うインターンシップとしてのぞんでください。担当日は責任をもって出席し、体調不良などの理由で遅刻、欠席の場合は速やかな報告をしてください。			
教科書及び教材			
必要に応じて担当教員から指示をします。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項の説明 評価項目についての説明	
2	事前指導	実習や教室の準備	
3	体験入学当日	1日の流れ 朝礼9：00	
4		参加者の誘導～実習準備	
18		実習サポート	
		昼食	
		お見送り	
		終礼	
19	レポート作成	反省会 改善点の提案などを出してください	
20	評価	各自へ評価結果を口頭で伝えます。	
成績評価の目安と方法			
評価項目 積極性 理解力 行動力 責任感 気遣い 礼儀 6項目を総合的に評価 【総合評価はA B Cの3ランクで評価】			
評価	成績評価別の到達度		
A	総合評価はA取得であり評価項目は全てAである		
B	総合評価はA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる		
C	総合評価 B取得		
D	総合評価 C取得		